

| | |
|-----------|---|
| 教員名 | 城 重幸 |
| 職名 | 教授 |
| 学歴・略歴 | 熊本大学教育学部卒業。公立小学校・熊本大学附属小学校教諭、熊本県教育庁指導主事、小学校校長、熊本市教育委員会学校教育部長・教育次長、平成音楽大学教授、湖東カレッジ教授兼副校長を経て現職。 |
| 学位 | 教育学士 |
| 担当科目 | 言葉とこどもの文化、こどもの指導法「言語表現」、教職論 |
| メッセージ | 幼児の言語理解や言語表現について深く学び、幼児期の言語習得に資する指導法を身に付けるとともに、教職の尊さを体得してほしい。 |
| 業績・社会的活動等 | <p>○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他）</p> <p>「生きることは学ぶこと」教育評論 2018年</p> <p>「授業のパラダイム（基調）の転換を」教育評論 2019年</p> <p>「天草版伊曾保物語と熊本方言の関係について」豊岡短期大学紀要「論集第18号」 2022年</p> <p>「小学1年教科書から見える幼児の言葉の指導」豊岡短期大学紀要「論集第19号」 2023年</p> <p>「THE 教師・夏目漱石」教育評論 2022年4月から連載中</p> <p>○社会的活動（社会教育活動）</p> <p>所属学会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本県小学校国語教育研究会・熊本市小学校国語教育研究会・国語国文（熊本大学教育学部）・日本国語教育学会 <p>役員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本県小学校国語教育研究会 顧問 ・熊本市小学校国語教育研究会 顧問 ・日本語検定委員会「日本語大賞」審査委員 <p>研修会講師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本市小学校国語教育研究会総会講師 2018年「教師夏目漱石」 ・学校法人湖東学園湖水祭講師 2018年「新システムによる就学前教育」 ・熊本市小学校国語教育研究会秋季研修会講演 「加藤清正に教師の生き方を学ぶ」2019年 ・東京書籍講演講師「GIGA スクール構想を踏まえた学校・教育のあり方」2020年 ・熊本市文学散歩講師 2013年～現在 ・熊本市退職校長会講師「加藤清正、肥後大改造」2022年 <p>○その他特記事項</p> <p>資格、免許</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校教諭 ・中学校教諭 ・高等学校教諭 <p>受賞歴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倉澤栄吉賞(国語科教育)2011年 |

| | |
|-----------|--|
| 教員名 | 伊藤 宏俊 |
| 職名 | 教授 |
| 学歴・略歴 | 神戸大学教育学部初等教育科体育専修卒業。公立中学校・小学校教諭・校長、兵庫県教育委員会指導主事、豊岡市教育委員会指導主事を経て現職。 |
| 学位 | 学士 |
| 担当科目 | 環境論、表現とこどもの運動、こどもの指導法「環境」、こどもの理解と援助、こどもと体育、教育実習、こどもの理解と相談支援、教育実習事前・事後指導、保育・教職実践演習、 |
| メッセージ | 青春とは心の若さである。理想を失うとき初めて老いる。(詩人 サミュエル・ウルマンの詩から) |
| 業績・社会的活動等 | <p>○著書</p> <p>「環境論」(共著) 豊岡短期大学通信教育部 2019年</p> <p>「保育・教職実践演習」(共著) 豊岡短期大学通信教育部 2023年</p> <p>○論文等(学術論文・紀要論文・研究報告書・その他)</p> <p>「心の教育」2009年</p> <p>「園児の体力作りと体育科学習指導案について」2010年</p> <p>「城崎小学校環境教育の取組」2009～2013年</p> <p>「幼小中連携教育について」2012年</p> <p>「特色ある学校づくり(教師が成長する学校づくり)」2011年</p> <p>『『生きる力』をはぐくむ～学生の意識改革のために～』(単著) 豊岡短期大学紀要「論集第13号」2016年</p> <p>「学生の資質・能力の向上を目指して～授業づくりを通して～」(単著) 豊岡短期大学紀要「論集第14号」2017年</p> <p>○その他特記事項</p> <p>免許、資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護司 2008年～現在 ・小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭免許(保体) ・文部科学省学校体育実技指導者講習会修了 ・社会教育主事 ・文部科学省「道徳教育連携・推進講座(中央講座)」課程修了 |

| | |
|-----------|---|
| 教員名 | 赤澤 誠一 |
| 職名 | 教授 |
| 学歴・略歴 | 京都教育大学理学科Ⅱ類卒業。公立中学校、小学校教諭・教頭・校長、香美町教育委員会指導主事を経て現職。 |
| 学位 | 学士 |
| 担当科目 | 教育実習、保育実習Ⅰ、保育実習指導Ⅰ、保育実習Ⅱ、保育実習Ⅲ、教育実習事前・事後指導、保育・教職実践演習、保育実習指導Ⅱ、保育実習指導Ⅲ、 |
| メッセージ | |
| 業績・社会的活動等 | <p>○著書（テキスト）</p> <p>「幼稚園教育実習事前・事後指導」（単著）豊岡短期大学通信教育部 2022年</p> <p>「保育・教職実践演習」（共著）豊岡短期大学通信教育部 2023年</p> <p>○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他）</p> <p>「特別支援教育の実践」（編集）但馬特別支援協議会研究紀要 2012年</p> <p>「香美町幼小中指導要録」（共著）香美町教育委員会 2011年</p> <p>「香美町研究保育」（単著）香美町立村岡幼稚園 2010年</p> <p>「サポートファイルの作成」（編集）香美町健康福祉課 2011～2013年</p> <p>「保育・教職実践演習の充実に向けて」一考察（共著）豊岡短期大学紀要「論集第13号」2016年</p> <p>「草花遊びの実践に向けてー若い保育者による環境教育の実践に向けてー」（共著）豊岡短期大学紀要「論集第14号」2017年</p> <p>○社会的活動（社会教育活動）</p> <p>研修会講師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊岡市教頭研修会 研修会講師 2005年 <p>○その他特記事項</p> <p>免許、資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭免許 |

| | |
|-----------|---|
| 教員名 | 原田 増廣 |
| 職名 | 教授 |
| 学歴・略歴 | 立命館大学法学部卒業。 大阪市立高等学校、私立高等学校の教諭、非常勤講師を経て現職。 |
| 学位 | 法学士 |
| 担当科目 | 憲法、こどもの理解と援助、教育実習、こどもの理解と相談支援、教育実習事前・事後指導 |
| メッセージ | 幼稚園教諭をめざす皆さんにとって、教育実習は、これまでの学習の成果を確認し、これからの課題を見つける機会になります。教育実習では、「先生」として子ども達に関わります。皆さん自身が理想とする教師像をしっかり持ち、よき教師になれることを願います。そのためには、普段から課題意識を持ち学習することが求められます。本学での学びを十分発揮できるよう、普段の学習に取り組むことを望みます。 |
| 業績・社会的活動等 | <p>○著書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新・保育と環境」（共著）嵯峨野書院 2019年 ・「こどもの理解と相談支援」（共著）豊岡短期大学 2019年 <p>○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「教育・保育施設における事故の検討ー固定遊具による窒息事故の裁判例ー」豊岡短期大学紀要「論集第20号」2024年（未発行） ・「保育所・幼稚園における園外事故の法的責任」豊岡短期大学紀要「論集第19号」2023年 ・「幼稚園・保育所事故における「過失」の検討ー「予見可能性」と「結果回避義務」ー」豊岡短期大学紀要「論集18号」2022年 ・「保育者養成校における学生の安全管理意識ー教職課程における学校安全への対応ー」豊岡短期大学紀要「論集第17号」2021年 ・「芸術療法を活用した教育相談のあり方について」（共著）南海福祉専門学校「紀要30号」2017年 ・「幼児教育における条件付けについて-こどものモチベーションとの関係」（共著）「南海福祉専門学校紀要30号」2017年 ・「教員養成校における教員に求められる資質について」（共著）「南海福祉専門学校紀要30号」2017年 ・「学校と地域との連携における安全教育のあり方についてー教員の専門性と地域人材の専門性を主眼においてー」（共著）豊岡短期大学紀要「論集第14号」2017年 ・「安全教育と教師の関わりについてー幼児教育現場における事故事例の検討ー」（共著）豊岡短期大学紀要「論集第14号」2017年 ・「学生の自己肯定感が教育実習に及ぼす影響について」（共著）豊岡短期大学紀要「論集第13号」2016年 <p>○学会発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「教員養成校における『教育相談』の授業のあり方についてーカウンセリングマインドを持った教員の養成ー」（共著）日本教育心理学会総会論文集（59） ・「グループ活動を通じた教員養成」日本教育心理学会 第61回総会 2019年 <p>○社会的活動（社会教育活動）</p> <p>所属学会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本技術史教育学会、日本教育心理学会 <p>○その他特記事項</p> |

資格・免許

・高等学校教諭二級普通免許（社会） ・中学校教諭一級普通免許（社会）

| | |
|-----------|---|
| 教員名 | 中村 容一 |
| 職名 | 教授 |
| 学歴・略歴 | 元大塚製薬株式会社（現大塚ホールディングス）社員。筑波大学大学院博士課程体育科学研究科体育科学専攻修了。筑波大学人間総合科学研究科研究員及び大学、短期大学の非常勤講師を経て現職。 |
| 学位 | 博士（体育科学） |
| 担当科目 | 、健康論、こどもの指導法「健康」 |
| メッセージ | 自身の将来を描きつつ一步一步前進していきましょう。 可能な限り皆さんに貢献できるようサポートいたします。 |
| 業績・社会的活動等 | <p>○著書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防に効く『体力別』レクリエーション（単著）メイツユニバーサルコンテンツ 2023年 ・介護予防に効く『体力別』運動トレーニング（単著）メイツ出版 2020年 ・介護予防のためのウォーキング」（単著）黎明書房 2017年 ・健康づくり・介護予防のための体力測定評価法」（共著）金方堂 2007年 <p>○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他）</p> <p>紀要論文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による行動制限が幼児期の基礎運動能力に及ぼす影響 豊岡短期大学論集 2023年 ・保育学生が立案する幼児の体力向上のための運動プログラムに関する考察 豊岡短期大学論集 2022年 ・幼児の基礎運動能力向上のための運動プログラム 豊岡短期大学論集 2021年 ・保育学生におけるインターネットの利用状況と健康行動との関連性 豊岡短期大学論集 2020年 ・世代間交流に導入すべき運動のあり方 豊岡短期大学論集 2019年 ・幼児の運動器評価のための基礎研究 豊岡短期大学論集 2018年 <p>学術論文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筋力運動を中心とした介護予防運動教室が身体的および精神的側面にもたらす効果 地域保健 2017年 ・習慣化できる介護予防運動プログラムの望ましい作成法 介護福祉・健康づくり研究 2016年 <p>○学会発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による行動制限が幼児期の体力に及ぼす影響—体力測定の結果より— 日本幼少児健康教育学会第40回記念大会 2022年 <p>○社会的活動</p> <p>所属学会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本体育学会 ・日本公衆衛生学会 ・日本幼少児健康教育学会 ・日本世代間交流学会 <p>役員・委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定非営利活動法人日本介護予防協会理事長 2022年～現在 <p>研修会講師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩育コーチ養成講座講師 2021年～現在 ・介護予防指導士養成講習会講師 2005年～現在 ・健康運動実践指導養成講習会講師 2005年～2015年 |

○その他特記事項

受賞歴

- ・第10回秩父宮記念スポーツ医・科学賞（奨励賞）
- ・第8回JAFaフィットネスサミット優秀報告賞

資 格

- ・健康管理士上級指導員
- ・食生活アドバイザー（2級）

| | |
|-----------|--|
| 教員名 | 徳安 敦 |
| 職名 | 教授 |
| 学歴・略歴 | 東亜大学大学院総合学術研究科人間科学専攻修了。東筑紫短期大学及び純真短期大学教授を経て、現職。 |
| 学位 | 修士（人間科学） |
| 担当科目 | 人間関係論、こどもの指導法「人間関係」、教育課程論、教育実習、教職論、保育内容総論、教育実習事前・事後指導、保育・教職実践演習 |
| メッセージ | 自分らしさと感性を大切にして学びましょう。 |
| 業績・社会的活動等 | <p>○著書</p> <p>「子どもの未来を拓く保育内容環境」（編著） 青踏社 2023年</p> <p>「保育内容言葉」（編著） 青踏社 2022年</p> <p>「コンパス保育原理」（共著） 建帛社 2019年</p> <p>○発表</p> <p>「宇宙との一体感の認識(1)―宇宙人を育てて世界平和を目指す―」日本保育者養成教育学会第6回研究大会 2022年</p> <p>○社会的活動</p> <p>所属学会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本保育学会 ・日本保育者養成教育学会 ・日本モンテッソーリ学会 <p>役員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人 健晴会 理事 2012年～ ・社会福祉法人 恵育福社会 評議員 2020年～ ・民生委員・児童委員 2022年～ <p>講演等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福岡県保育士等キャリアアップ研修（保護者・子育て支援）2020年～2022年 ・福岡県保育士等キャリアアップ研修（マネジメント）2020年～2022年 ・沖縄県保育士等キャリアアップ研修（保護者・子育て支援）2020年 ・福岡県認定こども園職員研修（中堅保育教諭等）2020年～2022年 ・福岡県認定こども園職員研修（初任者）2020年～2022年 <p>○その他特記事項</p> <p>資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教諭・小学校教諭・保育士 |

| | |
|-----------|--|
| 教員名 | 位田 かづ代 |
| 職名 | 教授 |
| 学歴・略歴 | 聖徳大学大学院児童学研究科児童学専攻博士前期課程（通信教育課程）修了。公立幼稚園主任教諭・公立保育園主任、聖徳大学准教授、児童相談所児童心理司、岐阜女子大学を経て現職。 |
| 学位 | 児童学修士 |
| 担当科目 | 環境論、言葉とこどもの文化、こどもの指導法「人間関係」、こどもの指導法「環境」、こどもの指導法「言葉」、子育て支援、教育課程論、教育実習、保育実習Ⅰ、保育実習指導Ⅰ、保育実習Ⅱ、保育実習Ⅲ、保育内容総論、教育実習事前・事後指導、保育・教職実践演習、保育実習指導Ⅱ、保育実習指導Ⅲ、 |
| メッセージ | 子どもの笑顔と未来のために、一人ひとりを大切にする保育の実践者になりましょう。 |
| 業績・社会的活動等 | <p>○著書</p> <p>「保育実習指導」（単著）豊岡短期大学 2024年</p> <p>「保育内容総論」（共著）豊岡短期大学 2019年</p> <p>「環境論」（共著）豊岡短期大学 2019年</p> <p>○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他）</p> <p>「子育て支援のあり方について－発達に不安を持つ保護者支援を通じて－」豊岡短期大学論集第17号 2020年</p> <p>「教員養成におけるミュージカル活動の意義Ⅱ－来場者アンケートの分析から－」岐阜女子大学紀要第47号 2017年</p> <p>「保育内容『環境』における野菜栽培活動の教育的効果」岐阜女子大学紀要第47号 2017年</p> <p>「保育士・幼稚園教諭に求められる資質・能力の向上のための取り組み－継続的な活動による学生の成長－」岐阜女子大学紀要第46号 2017年</p> <p>「子どもたちの『新たな学びの空間』の在り方に関する試行的研究－夏休みにおける試行的実践－」岐阜女子大学紀要第46号 2017年</p> <p>『『えほんかん』を活用した教育実践（1）～環境整備と読み聞かせの施行～』岐阜女子大学カリキュラム開発研究 Vol.1 No.1 2016</p> <p>「保育士・幼稚園教諭に求められる資質・能力の向上のための取り組み－ミュージカル上演活動を通じた成果と課題－」岐阜女子大学紀要第45号 2016年</p> <p>○社会的活動</p> <p>所属学会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本保育学会 ・日本臨床発達心理士会 ・日本学校心理士会 <p>岐阜女子大学公開講座講師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特例制度における幼稚園教諭免許状所有者のための保育士資格科目履修講座 <p>2015年～2018年</p> <p>岐阜県総合教育センター講座講師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県高等学校家庭科教員研修会 2017年 <p>○その他</p> <p>免許、資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士、幼稚園教諭専修免許、臨床発達心理士、学校心理士 |

| | |
|-----------|--|
| 教員名 | 山田 美紀子 |
| 職名 | 教授 |
| 学歴・略歴 | 大阪教育大学初等教育学部体育科卒業、高等学校非常勤講師、甲南女子大学准教授、大阪芸術大学短期大学通信教育部教授を経て現職。 |
| 学位 | 教育学士 |
| 担当科目 | 健康論、表現とこどもの運動、こどもの指導法「健康」、こどもの指導法「リズム表現」 |
| メッセージ | 子どもたちは計り知れない力をもっている。幼児教育を目指す皆様ご自身が、身をもって「遊び」の世界の楽しさを知ってほしい。 |
| 業績・社会的活動等 | <p>○著書</p> <p>『保育内容「健康」』共著 保育出版社 1998年</p> <p>「こころとからだをつなぐあそびうた」共著 保育内容の研究領域人間関係 ふくろう出版 2011年</p> <p>「こころとからだをつなぐ運動あそび」共著 体育科教育（小学校低学年編） ふくろう出版 2011年</p> <p>「こころとからだをつなぐあそびうた」共著 保育内容の研究領域幼児の健康 ふくろう出版 2012年</p> <p>○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他）</p> <p>その他</p> <p>みんなげんきジム主催 親子体操 子どもの体操 子どもの musical 昭和54年3月～現在</p> <p>みんなげんきファミリーコンサート（みんなげんきジム主催） 昭和54年3月～現在</p> <p>講演、研修会</p> <p>昭和54年以来全国の幼稚園・保育所連盟より「リズムあそび」「運動あそび」の講演・実技演習の依頼があり、延べ300箇所以上で実施</p> <p>○その他特記事項</p> <p>・体操とうたあそびCDとテキスト vol.42 全42枚 全500～600曲作品の製作 昭和54年～現在</p> <p>免許・資格</p> <p>小学校教諭一級免許</p> <p>中学校保健体育教諭一級免許</p> <p>高等学校保健体育教諭二級免許</p> |

| | |
|-----------|--|
| 教員名 | 田中 敏明 |
| 職名 | 教授 |
| 学歴・略歴 | 広島大学教育学部心理学科卒業 広島大学大学院教育学研究科修士課程教育心理学専攻修了、博士課程中退 福岡教育委大学講師、助教授、教授を経て現職 福岡教育大学名誉教授 |
| 学位 | 文学修士 |
| 担当科目 | 環境論、こどもの指導法「環境」、発達心理学、教育課程論、教育方法論、教育心理学、乳幼児保育Ⅰ、乳幼児保育Ⅱ |
| メッセージ | 保育という仕事は夢と未来のある仕事です。未来を生きる子ども達を確かに育てる保育者として必要な資質・能力や人間性をみなさんと共に考え、伝えていきます。 |
| 業績・社会的活動等 | <p>○主な著書</p> <p>「保育学研究倫理ガイドブック」(共著) 一般社団法人日本保育学会 2023年</p> <p>「コンパス保育原理」(編著) 建帛社 2019年</p> <p>「幼稚園・保育所指導計画作成と実践のためのねらいと内容集」(単著) 北大路書房 2014年</p> <p>「子どもの生活と園生活の姿」(編著) ミネルヴァ書房 2000年</p> <p>○主な論文等(学術論文・紀要論文・研究報告書・その他)</p> <p>・「外国籍の幼児を持つ保護者のための日本の保育施設入園と園生活の手引き」(共著) 2024年</p> <p>・「気になる子どもに関わる保育者に対する個別的双方的支援(1) 保育者に対するアンケートから見えること」(共著) 九州女子大学紀要 60巻2号 2024年</p> <p>・「日本の保育施設における外国籍幼児の保護者支援—日本の保育施設に対する意識と要望—」(単著) 豊岡短期大学論集大 18号 2024年</p> <p>・「幼稚園・保育所等に在籍する外国籍乳幼児の保護者の支援、園と保護者相互理解の方策」日本学術振興会 2022年度科学研究費助成事業研究実施状況報告書 2023年</p> <p>・「未来を生き未来を作る子どもたちのための保育研究」保育学研究 60(2) 3-4 2022年</p> <p>・「コアモデルとしての年間指導計画作成手順と作成事例」(単著) 豊岡短期大学論集大 18号 2022年</p> <p>・Necessity of salt-intake reduction education from the youth: A cross-sectional survey of sodium to potassium ratio between mothers and their preschoolers Hypertension Research、44-10、1307~1315、2021</p> <p>・「幼児の生活、保護者の育児観の変容と子育て支援の課題」(共著) 九州女子大学学術情報センター研究紀要 Vol3 2020年</p> <p>・「幼稚園教育課程モデルの編成」(共著) 九州女子大学紀要第56巻2号 2020年</p> <p>・「保育雑誌に掲載される年間指導計画の分析—改訂された幼稚園教育要領等の『資質・能力』及び『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』の視点から—」(共著) 九州女子大学紀要第55巻1号 2018年</p> <p>○社会的活動(社会教育活動)</p> <p>所属学会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本保育学会 ・九州保育研究会 <p>役員・委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本保育学会理事 2018年～現在 ・福岡県子ども会議会長 2024年～現在 ・九州保育研究会会長 2012年～現在 ・学校法人黒田学園理事 2013年～現在 |

研修会講師（2023 年度）

- ・文部科学省研究開発学校研究発表会助言者
- ・各県保育士キャリアアップ研修講師

その他

- ・遼寧師範大学（中国・大連市）客員教授
- ・カーエイプリスクール（ミャンマー・ヤンゴン市）教育顧問

| | |
|-----------|---|
| 教員名 | 神吉 脩 |
| 職名 | 教授 |
| 学歴・略歴 | 倉敷芸術科学大学大学院人間文化研究科人間文化専攻修了。公立中学校教諭、神戸親和女子大学児童教育学科教授を経て現職。 |
| 学位 | 修士（学術） |
| 担当科目 | 造形表現論、こどもの指導法「造形表現」、こどもと造形 |
| メッセージ | 「どの子にも豊かな生活と表現、楽しさと喜びを!」と願い、共に学び、実践を深め合いました。 |
| 業績・社会的活動等 | <p>○著書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもと造形／子どもの指導法「造形表現」実践ノート(単著) 街の図工室しののめ工房 2024年 <p>○論文等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの生活表現における版画活動を考える 美術の教室 108号 2024年 ・学校から地域から子どもたちの人間的成長に寄与した先人たち 大田耕士・賀川豊彦の活動にふれる 新しい絵の会ニュースNo.217 2023年 ・子どもの生活表現における工作活動を考える 美術の教室第107号 2023年 ・コロナ禍だからこそ、どの子にも豊かな生活と表現を 美術の教室第106号 2022年 ・子どもの生活表現を育むために考えたこと 美術の教室第106号 2022年 ・コロナ禍に向き合う美術教育、今言いたいことを特集して 美術の教室第105号 2021年 ・コロナ禍の子どもたちと美術教育 国際教育フォーラム第90号 2021年 ・画家イ・ジュンスプの家の訪問と美術鑑賞の授業 美術の教室第104号 2020年 ・子どもたちに豊かな感性と表現、そして生きるよろこびを 須田記念視覚の現場 祝賀復刊記念号 2019年 ・子どもの成長・発達とものづくりの可能性 国際教育フォーラム第81号 2019年 <p>○研究会発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・版画遊びから版画表現へ 兵庫・幼児美術教育の会 2024年 ・今こそどの子にも豊かな生活と表現を 第70回東北民教研浅虫集会 2023年 ・画材の特徴を生かした多様な表現 尼崎市私立幼稚園連合会研修会 2023年 ・子どもの生活表現を育むー生活表現の意義・課題・実践のあり方ー 第69回東北民教研天童集会 2022年 <p>○社会的活動（社会教育活動）</p> <p>所属学会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早稲田大学美術史学会、・美術科教育学会 <p>役員・委員会・講師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・篠山チルドレンズミュージアム 学芸員 2019年～現在 ・認定こども園七松幼稚園 講師 2020年～現在 ・図工美術教育研究「新しい絵の会」全国委員 2000年～現在 研究誌『美術の教室』編集代表 2020年～現在 第63回国工美術教育全国研究大会 実行委員長 2023年 ・兵庫県「豊かな美しい瀬戸内海」のおはなし（紙芝居脚本）審査会委員長 2019年 <p>○その他特記事項</p> <p>受賞歴</p> |

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・神戸親和女子大学学長賞 2011年・2016年 免許・資格・中学校教諭・高等学校教諭・学芸員資格 |
|--|--|

| | |
|-----------|--|
| 教員名 | 仲嶺 まり子 |
| 職名 | 教授 |
| 学歴・略歴 | 国立音楽大学教育音楽学部教育音楽専攻第Ⅱ類卒業後、別府大学短期大学部学長を経て現職。 |
| 学位 | 学士（芸術学） |
| 担当科目 | 音楽表現論、こどもの指導法「リズム表現」、こどもの指導法「音楽表現」 |
| メッセージ | 保育者を目指す皆さん！歌や表現遊びを通して子どもと楽しくふれ合う保育スキルを是非一緒に学びましょう。 |
| 業績・社会的活動等 | <p>○著書</p> <p>（教材）「わらべうたデジタル教材（動画）」初等教育科 2020～2023</p> <p>（教材）「乳幼児の表現活動実践事例集」初等教育科 2019</p> <p>（教材）「音楽・音楽表現テキスト」初等教育科音楽講座 2017</p> <p>（教材）「こどものうた簡易伴奏集」初等教育科音楽講座 2014</p> <p>（教材）「ゆび使いサブノート」初等教育科音楽講座 2011</p> <p>「表現・幼児音楽」保育出版社、1994</p> <p>「たのしいゆび遊び」初等教育科保育シリーズ 1973</p> <p>○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他）</p> <p>・「2～5 歳児の遊びの場面における子どもの活動と発達との関連に関する一考察 —領域「表現」及び領域「人間関係」と発達の見点を通じた子どもの活動—」仲嶺まり子・石川千穂子・矢針金まゆみ、豊岡短期大学論集第 20 号、2023</p> <p>・「2～5 歳児の遊びの場面における子どもの姿に関する一考察 —領域「表現」及び「健康」との関連性—」仲嶺まり子・石川千穂子・矢島潤平、センターレポート臨時増刊号、2022</p> <p>・「音楽表現」の授業改善を手がかりとした「幼児と表現」における学習方法に関する一考察」仲嶺まり子・秋元文緒、初等教育第 44 号、2020</p> <p>・「子育て支援センターに於ける学生支援スタッフ活動を通じた学び」仲嶺まり子・安部えつ子・吉村壮明・高濱正文、初等教育第 43 号、2018</p> <p>・「1, 2 歳児の表現と他者との関係性に関する一考察」仲嶺まり子・秋元文緒、別府大学短期大学部紀要第 37 号 2017</p> <p>・「こどものうた弾き歌い指導における進度別教材の活用に関する一考察」仲嶺まり子・藤田光子・安部えつ子、別府大学短期大学部紀要第 35 号 2015</p> <p>・「幼稚園教員養成における小学校音楽鑑賞教材を活用した「音楽と動き」に関する授業実践」仲嶺まり子・秋元文緒・安部えつ子、別府大学短期大学部紀要第 34 号 2015</p> <p>・「動きを通して学ぶ音楽の指導手法に関する一考察 —2012 DSA NATIONAL CONFERENCE におけるワークショップ「Eurythmics」の学びを通して—」秋元文緒・仲嶺まり子・善本桂子、別府大学短期大学部紀要第 33 号 2014</p> <p>・「リトミックにおける幼児の表現の受け止めに関する一考察 —K の活動記録の省察を通して—」仲嶺まり子、ダルクローズ音楽教育研究通巻第 35 号 2011</p> <p>○社会的活動（社会教育活動）</p> <p>所属学会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本音楽教育学会 ・日本ダルクローズ音楽教育学会 ・日本保育学会 ・日本保育者養成教育学会 <p>役員</p> |

- ・全国保育士養成協議会九州ブロック理事（平成24年～平成28年）
 - ・全国保育士養成協議会九州ブロック常任理事（平成28年～令和2年6月）
 - ・おおいた子ども子育て応援県民会議会長（平成29年～令和5年5月）
 - ・大分市社会福祉審議会児童部会長（平成27年～令和5年5月）
 - ・大分市子ども・子育て会議副会長（平成25年～令和7年3月）
 - ・大分市教育ビジョン検討委員会委員（令和元年8月～令和2年2月）
 - ・大分県幼児教育推進協議会副委員長（平成31年4月～令和5年3月）
 - ・全国栄養士養成施設協会九州地区常任理事（令和2年4月～令和4年3月）
 - ・別府市就学前の子どもに関する教育等協議会委員（令和2年10月～令和3年6月）
 - ・大分市教育委員会「教育に関する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価」委員（令和5年6月～令和5年8月報告書提出に至る）
 - ・大分県長期教育計画委員会委員（令和5年7月～令和7年6月）
 - ・大分市幼児教育・保育振興計画中間評価委員会委員長（令和5年8月～令和6年2月）
 - ・大分市子どもルーム事業推進協議会委員長（令和5年4月～令和6年3月）
 - ・大分県子ども読書活動推進連絡会議会長（令和5年12月～推進計画報告の日まで）
- その他特記事項
- 資格、免許
- ・中学校教諭一級免許状（音楽）
 - ・高等学校教諭二級免許状（音楽）
- 受賞歴
- ・教育功労賞（文部科学大臣表彰）平成22年10月
- 学会等活動
- ・日本保育学会九州・沖縄地区第5回研究集会「幼保小接続の実際と今後の方向性」実行委員長 令和3年3月
 - ・日本音楽教育学会令和3年度九州地区例会実行委員長 令和4年3月
 - ・全国保育士養成協議会第22回九州ブロックセミナー大分大会実行委員長 令和4年9月
 - ・日本保育学会第76回大会ポスター発表座長 令和5年5月

| | |
|-----------|--|
| 教員名 | 笠野 恵子 |
| 職名 | 教授 |
| 学歴・略歴 | 鹿児島国際大学大学院福祉社会学研究科博士課程修了。公立保育園主任保育士、公立高校専任講師、神村学園専修学校こども学科学科長、中九州短期大学幼児保育学科教授・学科長、第一幼児教育短期大学教授・学生部長・図書館長を経て現職。 |
| 学位 | 博士（社会福祉学） |
| 担当科目 | 言葉とこどもの文化、教育原理、こどもの指導法「言葉」、教育課程論、教育実習、保育内容総論、教育実習事前・事後指導、保育・教職実践演習 |
| メッセージ | |
| 業績・社会的活動等 | <p>○著書</p> <p>『社会保障 社会福祉 生活を支えるしくみ』（共著、2023年2月、学文社）</p> <p>『福祉を拓く—現代福祉の諸論—』（共著、2021年6月、南方新社）</p> <p>『社会保障 第3版 生活を支えるしくみ』（共著、2020年4月、学文社）</p> <p>『デザインする保育内容指導法「言葉』』（共著、2019年7月、教育情報出版）</p> <p>『現代福祉用語辞典』（共著、2019年6月、学文社）</p> <p>『福祉を拓く2—連携と協働の創生』（共著、2019年2月、南方新社）</p> <p>○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他）</p> <p>「保育カリキュラムに関する研究」保育内容の変遷に注目して（単著、2024年4月、九州社会福祉学年報（13）（14）合併号 37-47）</p> <p>「コロナ禍におけるひきこもりの課題」（単著、2022年4月福祉開発研究 = Welfare development study / かがしま福祉開発研究所編集委員会 編（5）54-64.）</p> <p>「保育所の給食を提供する立場からみた課題：これからの保育所における栄養士の「役割」について」（共著、2022年3月、第一幼児教育短期大学紀要 53-63.）</p> <p>「韓国の文化と教育に関する一考察」（単著、2022年3月、第一幼児教育短期大学紀要 1-14.）</p> <p>「ひきこもりとは何か：その意味と支援」単著、2021年3月、福祉開発研究 = Welfare development study / かがしま福祉開発研究所編集委員会 編（4）56-63.）</p> <p>「絵本についての一考察 K 県短期大学絵本認定士養成講座より」（共著、2021年月、第一幼児教育短期大学紀要 41-51.）</p> <p>「ひきこもりの現状の一考察」（単著、2021年3月、第一幼児教育短期大学紀要 1-11, 2021-03）</p> <p>「保育の質向上に関する一考察：5 領域から考える」（単著、2021年3月、福祉開発研究 = Welfare development study / かがしま福祉開発研究所編集委員会 編（3）34-41.）</p> <p>「領域「言葉」の検討」（単著、2020年3月、第一幼児教育短期大学紀要 1-10.）</p> <p>「保育者養成の現状と課題：学生を対象としたアンケート調査より」（共著、2019年3月、中九州短期大学論叢 / 中九州短期大学論叢編集委員会 編 41（2）, 76-89.）</p> <p>「日本における子守学校に関する一考察」（単著、2019年3月、中九州短期大学論叢 / 中九州短期大学論叢編集委員会 編 41（2）, 3-18.）</p> <p>「保育実践『子どもと共に環境を作り出す』：パンやさんごっこを通して」（共著、2019年3月、中九州短期大学論叢 / 中九州短期大学論叢編集委員会 編 41（2）, 90-10.）</p> <p>「子ども分野における保育ソーシャルワークの位置づけ：乳幼児ソーシャルワークとスクールソーシャルワークの関連から（単著、2019年3月、福祉開発研究 = Welfare development study / かがしま福祉開発研究所編集委員会 編（2）53-6.）</p> <p>「保育の質を高めるためのこどもソーシャルワークに関する一考察」（単著、2018年11月、鹿</p> |

児島国際大学大学院学術論集(8)、1~8.)

「保育内容「環境」に関する一考察」(単著、2018年9月、中九州短期大学論叢 / 中九州短期大学論叢編集委員会 編 41(1), 3-12.)

「保育者の専門性に関する一考察：学生を対象としたアンケート調査より」(単著、2018年9月、中九州短期大学論叢 / 中九州短期大学論叢編集委員会 編 41(1), 24-30.)

「保育ソーシャルワークの実践の意義と展開：先行研究レビューを踏まえて」(単著、2018年3月、九州社会福祉学 / 日本社会福祉学会九州部会 編 (14) 1-12.)

「領域「言葉」の実践報告：絵本の読み聞かせ実践を通して」(単著、2018年2月、中九州短期大学論叢 / 中九州短期大学論叢編集委員会 編 40(2), 87-93.)

「音楽療法の意義」(共著、2018年2月、中九州短期大学論叢 / 中九州短期大学論叢編集委員会 編 40(2), 101-108.)

「自然体験活動を基軸とする幼児教育の現状とその展望：研究発表を通して」(共著、2018年2月、中九州短期大学論叢 / 中九州短期大学論叢編集委員会 編 40(2), 75-82.)

「「保育内容」の一考察：乳幼児と5領域の関連性」(単著、2018年2月、中九州短期大学論叢 / 中九州短期大学論叢編集委員会 編 40(2), 3-15.)

「幼児教育の歴史から見た保育指導法に関する一考察」(単著、2018年2月、中九州短期大学論叢 39(1-2, 3~18)

○社会活動等

・第一幼児教育短期大学主催、「公開講座、未就園児と親子読書を楽しもう。」講師 2022年、9月

・鹿児島県教育委員会主催、「鹿児島県の産学連携に学ぶ！アカデミック・インターンシップ推進事業」「保育者の仕事」講師 2022年7月

・霧島市保健福祉施設民営化検討委員会委員長 (2019年7月~2021年3月)

・第45回熊本県私立幼稚園研修大会第6分科会保育実践「遊びの意味と育ちへのつながり」助言者(2016年7月~2019年7月)

・八代市子ども・子育て支援委員(2016年1月~2018年3月)

| | |
|-----------|--|
| 教員名 | 阪上 節子 |
| 職名 | 教授 |
| 学歴・略歴 | 大阪総合保育大学大学院児童保育研究科修士課程修了。伊丹市職員、大和大学教授、武庫川女子大学非常勤講師、神戸教育短期大学非常勤講師を経て現職。 |
| 学位 | 修士（初等教育学） |
| 担当科目 | 人間関係論、言葉とこどもの文化、こどもの指導法「人間関係」、こどもの指導法「言葉」、子育て支援、教育課程論、教育実習、保育実習Ⅰ、保育実習指導Ⅰ、保育実習Ⅱ、保育実習Ⅲ、乳幼児保育Ⅰ、乳幼児保育Ⅱ、保育内容総論、教育実習事前・事後指導、保育・教職実践演習、保育実習指導Ⅱ、保育実習指導Ⅲ |
| メッセージ | 学生さんは乳幼児教育について温かい触れ合いや語り合い、学びの喜びが満ち溢れる教育環境の中で有意義な青春時代を過ごして、心豊かな保育者を目指してください。 |
| 業績・社会的活動等 | <p>○著書</p> <p>「月刊保育とカリキュラム『異年齢交流』」共著 ひかりのくに 2003～2004</p> <p>「保育者と学生・親のための『乳児の絵本・保育課題絵本ガイド』」ミネルヴァ 2009</p> <p>「子育て支援のいま・これから『大阪府下の保育所』」ふくろう出版 2015</p> <p>『『保育内容総論』』 青踏社 2016</p> <p>『『保育内容健康』』 青踏社 2016</p> <p>『『言葉』』 青踏社 2016</p> <p>「乳幼児の発達臨床心理学『理論と現場を繋ぐ』」北大路書房 2016</p> <p>「子どもと家族をアシストする『相談援助』」教育情報出版 2017</p> <p>『『人間関係』』共編著 青踏社 2018</p> <p>「子どもの社会の未来を拓く『相談援助』」青踏社 2018</p> <p>「生活からはじまる『健康』」青踏社 2018</p> <p>『『保育内容環境』』 青踏社 2018</p> <p>「成長し続ける『教育・保育実習』」教育出情報版 2018</p> <p>『『乳児保育の理論と実践』』 光生館 2019</p> <p>「生活からはじまる『教育原理』」青踏社 2020</p> <p>『『子どもの保健と安全』』 教育情報出版 2021</p> <p>『『子どもの未来を拓く保育内容 環境』』2023 等</p> <p>○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他）</p> <p>「幼児期の遊びにおける『学び』の研究探索・探究活動を通して獲得する「興味・関心」「目的意識」に着目して」単著 大和大学 2015</p> <p>『『異年齢児交流の遊び場の分析』』選択活動における子どもの姿」単著 大和大学 2016</p> <p>「コミュニケーション力を身につけ『共に育ち合う子ども』の育成」単著 大和大学 2018</p> <p>「母親の持つ育児不安の葛藤に対する心理的・社会的支援に関する一考察」単著 大和大学 2021 等</p> <p>○所属学会</p> <p>日本保育学会 日本乳幼児教育学会 幼児発達研究会 日本応用教育心理学会</p> <p>○その他特記事項(受賞歴・資格等)</p> <p>受賞歴</p> <p>・市制施行 80 周年記念「自治功労賞」教育、学習、子育て支援功労 伊丹市長 2020 等</p> <p>資格 ・保育士・幼稚園教諭専修・スクールカウンセラー ・調理師 等</p> |

| | |
|-----------|--|
| 教員名 | 神谷 明宏 |
| 職名 | 教授 |
| 学歴・略歴 | 明治学院大学社会福祉学科卒業。 聖徳大学人文学部児童教育科准教授を経て現職。 |
| 学位 | 学士（社会福祉学） |
| 担当科目 | 健康科学、スポーツ（実技）、社会福祉論、健康論、表現とこどもの運動、こどもの指導法「健康」、社会的養護Ⅰ、子育て支援、こどもの理解と援助、こどもと体育、社会的養護Ⅱ |
| メッセージ | |
| 業績・社会的活動等 | <p>○著書</p> <p>「保育文庫1 わくわくドキドキあ・そ・び・ランド」 共著 平成2年8月小学館 全159ページ</p> <p>「あそびでみるこどもの城の四季」 共著 平成3年3月こどもの城 全51ページ</p> <p>「活動意欲を高めるダイナミック野外遊び」 単著 平成3年5月 フレーベル館 全117ページ</p> <p>「児童館自然はあそびがいっぱい」 共著 平成4年3月 (社)全国児童館連合会 全230ページ</p> <p>「児童文化活動シリーズあそびをつくるどの子ども輝くイベント」 共著 平成5年3月 神奈川県立青少年センター 全59ページ</p> <p>「児童文化活動シリーズあそびをつくる「きみが主役に」定番イベント」 共著 平成5年3月 神奈川県立青少年センター 全47ページ</p> <p>「ゆうゆう子育て「0歳から3歳までの遊びの世界」」 共著 平成7年2月 全国母子健康センター連合会 全179ページ</p> <p>「遊ブックスシリーズキャンプ&野外生活ワンダーランド」 共著 平成10年5月 いかだ社 全188ページ</p> <p>「冒険心はじけるキャンプグループワークを生かした新しい野外活動」 単著 平成11年2月 あすなろ書房 全182ページ</p> <p>「生きる力を育むプログラム研究人間関係開発のプログラム」 共著 平成11年3月 (社)全国子ども会連合会 全104ページ</p> <p>「人間関係開発のプログラム研究」 共著 平成11年3月 (社)全国子ども会連合会 全103ページ</p> <p>「ほのぼの・ほかほか・わくわく・わいわい家族」 共著 平成12年1月 (社)全国子ども会連合会 全48ページ</p> <p>「若者がまちを創る」 共著 平成20年3月 悠雲舎 全161ページ</p> <p>「子どもの遊びと安全・安心が両立するコミュニティづくり」 共著 平成22年3月 こども環境学会 全85ページ</p> <p>「ひと×まちからの創造」 共著 平成22年3月 悠雲舎 全78ページ</p> <p>「福島県震災を踏まえた子育て環境に関する調査研究報告書」 共著 平成26年3月 こども環境学会</p> <p>「ふくしまっこ遊び力育成プログラム」 共著 平成27年3月 こども環境学会 全155ページ</p> <p>「封筒や紙コップで人形を作ってあそぼう」 単著 平成28年3月 全14ページ</p> <p>「こどもげんきハンドブック」 共著 平成30年3月 こども環境学会 全64ページ</p> <p>「玩具福祉の理論と実践」 共著 平成30年8月 萌文書林 全206ページ</p> <p>「できる！たのしむ！むかしのあそび1こま」 単著 平成31年4月 小峰書店 全31ページ</p> <p>「できる！たのしむ！むかしのあそび2けん玉」 単著 平成31年4月 小峰書店 全31ページ</p> |

ジ

「できる!たのしむ!むかしのあそび3お手玉」単著 平成31年4月 小峰書店 全31ページ

ジ

「できる!たのしむ!むかしのあそび4たこ」単著 平成31年4月 小峰書店全31ページ

「できる!たのしむ!むかしのあそび5あやとり」単著 平成31年4月 小峰書店 全31ページ

「できる!たのしむ!むかしのあそび6ビー玉はねつきなど」単著 平成31年4月 小峰書店 全31ページ

「遊びで防災体験 ①楽しく身につく防災学習」単著 令和4年3月 いかだ社 全47ページ

「遊びで防災体験 ②サバイバルグッズ&クッキング」単著 令和4年3月 いかだ社 全47ページ

「遊びで防災体験 ③避難所わくわくレクリエーション」単著 令和4年3月 いかだ社 全47ページ

「遊びで防災体験BOOK」単著 令和4年3月 いかだ社 全119ページ

「新しい児童学への招待」共著 令和4年3月 聖徳大学出版会 全9ページ

○論文等(学術論文・紀要論文・研究報告書・その他)

(学術論文)

「肥満児キャンプの経験(その1)食事のコントロールと活動プログラムについて」共著 昭和61年 日本肥満児学会研究第33席 pp.136~138

「児童厚生施設における指導員の専門性について」単著 平成3年全国福祉レク・ネットワーク福祉レクリエーション研究レポート第2号 pp.25~28

「子ども会活動を通じての子どもの成長に関する調査-プログラムと活動評価」共著 平成9年3月(社)全国子ども会連合会全163頁

「子どもの遊び-その現状に関する考察-」単著 平成12年3月 小児科臨床第53号日本小児医事出版 pp.183~187

「プロジェクトアドベンチャープログラムが女子大生の内発的動機づけに及ぼす影響」共著 平成13年12月 聖徳大学研究紀要人文学部第12号 pp.71~75

「女子大学生のスポーツ・レクリエーション活動に関する研究」共著 平成14年3月 聖徳大学研究紀要人文学部第13号 pp.61~66

「子どもと地域ボランティア活動-イギリスのボランティア活動を例に-」単著 平成17年12月 保健の科学第47巻第12号杏林書院 pp.850~855

「高等教育におけるボランティアサポート体制の評価と支援方策」共著 平成18年12月 聖徳大学研究紀要人文学部第17号 pp.55~62

「地域に密着した大学ボランティアセンターの活性化要素」共著 平成19年3月 聖徳大学生涯学習研究所紀要第5号 pp.61~68

「漫画にみる地域・家庭・子どもの変遷」単著 平成19年9月 こども環境学研究 vol.3, No.2 pp.25~27

「「体験学習」を重視した授業展開と効果的な指導方法」共著 平成20年3月 聖徳大学生涯学習研究所紀要第6号 pp.1~9

「教育玩具の源流-フレーベル幼稚園と恩物-」単著 平成22年3月 玩具福祉研究 8号 pp.71~78

「玩具療法におけるソーシャルワーク実践」単著 平成22年7月 玩具福祉学会創立10周年

記念論文集 pp.24～27

「アートパークプロジェクトを通じた地学連携と学生参画の意味」共著 平成 23 年 2 月 聖徳大学・聖徳大学短期大学部 FD 紀要 No.5pp.97～108

「被災した子どもの心を癒す玩具」単著 平成 24 年 4 月 玩具福祉研究 10 号 pp.46～54

「青少年活動における危機管理計画」単著 平成 24 年 8 月 社会教育 No.794pp.14～18

「生きる力を育む体験活動」単著 平成 25 年 1 月 社会教育 No.799pp.25～29

「子育て支援活動における野外活動・レクリエーションの意義」単著 平成 26 年 2 月 子育て支援と心理臨床 vol.8,福村出版 pp.57～62

(教材)

(社) 全国子ども会連合会編「子ども会 StepUpforjuniorLeader's」平成 10 年 4 月

(社) 日本キャンプ協会「日本キャンプ協会キャンプテキスト」平成 10 年 5 月

(社) 全国子ども会連合会「子ども会 StepUp for 集団指導者」平成 11 年 2 月

(財) 日本レクリエーション協会編「やさしいレクリエーション実践」平成 11 年 2 月

成美堂出版編「介護福祉士過去 5 年問題集」平成 13 年 12 月

成美堂出版編「介護福祉士過去 5 年問題集」平成 14 年 10 月

「社会福祉援助技術 I」(理論編) 共栄出版平成 14 年 10 月

「社会福祉援助技術演習」保育出版平成 18 年 1 月

こども環境アドバイザー資格講習会テキスト No.5「こども活動における危機管理の実践」こども環境学会平成 203 月

こども環境アドバイザー資格講習会テキスト No.2「ワークショップを学ぶ」こども環境学会平成 21 年 3 月

玩具療法士養成セミナーテキスト「玩具療法の実践方法」玩具福祉学会平成 22 年 11 月

こども環境アドバイザー資格講習会テキスト No.1「こどものための環境づくり」こども環境学会平成 23 年 3 月

こども環境アドバイザー資格講習会テキスト No.4「こども参画をすすめる方法」こども環境学会平成 25 年 3 月

【その他】

(ビデオ)

指導者のためのキャンプソング平成 6 年(社)日本キャンプ協会

(テレビ・ラジオ出演)

NHK 教育テレビ実践話し方講座「第 10 回こども向きにはなす」昭和 62 年 6 月 14 日

日本テレビズームイン!!朝「夏休みの過ごし方キャンプ編」昭和 63 年 8 月 8 日

NHKBS2 赤ちゃんなんでも百科「親子であそぼ」26 回～35 回平成 8 年 5 月

NHK 教育テレビすくすく赤ちゃん「育児サークルをつくろう」平成 8 年 9 月 7 日

NHK 教育テレビすくすく赤ちゃん「保育から地域活動へ」平成 8 年 9 月 14 日

NHK 教育テレビすくすく赤ちゃん「“おもちゃ”で遊ぼう」平成 9 年 1 月 11 日

テレビ神奈川アクセス NOW「親子で遊ぶぞ、夏休み」平成 11 年 6 月 25 日

FM ぜんこうじ「ひと口健康百科」「子どもの健康と教育と遊び。今、子どもに大切なこと。コミュニケーション」平成 13 年 7 月 (全 5 回)

テレビ東京ニュースアイ「プロジェクトアドベンチャーによる体験活動」平成 13 年 7 月 24 日

NHK「チコちゃんに叱られる」令和 4 年 4 月 8 日

○社会的活動 (社会教育活動)

所属学会

こども環境学会 理事・副会長

日本野外教育学会 会員

日本レジャー・レクリエーション学会 会員

NPO コミュニティー実践センター 副理事長

松戸市放課後児童クラブに関する有識者会議委員

○その他特記事項

(表彰)

(社)日本キャンプ協会キャンピングアワード平成 19 年

(財)横浜市体育協会スポーツ功労賞平成 20 年

(財)神奈川県スキー連盟功労表彰平成 21 年

(財)日本レクリエーション協会レクリエーション運動普及振興功労表彰平成 22 年

松戸市教育委員会社教育委員表彰 令和 4 年

| | |
|-----------|--|
| 教員名 | 矢野 洋子 |
| 職名 | 教授 |
| 学歴・略歴 | 福岡教育大学大学院教育学研究科障害児教育専攻修士課程修了。 西日本短期大学保育学科教授、九州女子短期大学子ども健康学科主幹教授・学科長・短期大学部長・学長特別補佐を経て現職。 |
| 学位 | 教育学修士 |
| 担当科目 | 社会福祉論、人間関係論、こどもの指導法「人間関係」、こども家庭福祉、社会的養護Ⅰ、こども家庭支援論、障害児保育、こどもの発達と家庭支援、発達心理学、教育実習、社会的養護Ⅱ、教育実習事前・事後指導、保育・教職実践演習、特別支援教育 |
| メッセージ | 気になる子どもへの保育者の支援の重要性が、ますます大きくなっていきます。具体的な支援が考えられる保育者・教育者を目指しましょう！！ |
| 業績・社会的活動等 | <p>○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他）</p> <p>「学生の保育実習への不安に関する検討Ⅰ－保育実習を通してどのように変化するのか－」（共著・筆頭）九州女子大学紀要第58巻1号（令和3年）</p> <p>「学生の保育実習への不安に関する検討Ⅱ－気になる子どもへの不安に対応できる授業の構築－」（共著・筆頭）九州女子大学紀要第58巻2号（令和3年）</p> <p>「支援者への支援の必要性Ⅰ」（共著・筆頭）九州女子大学学術情報処理センター紀要 vol5（令和4年）</p> <p>「支援者への支援の必要性Ⅱ」（共著・筆頭）九州女子大学紀要第59巻1号（令和4年）</p> <p>「気になる子どもを支援する力を育てる（Ⅰ）－「障害児保育」における学生への試み－」（共著・筆頭）九州女子大学紀要第59巻2号（令和4年）</p> <p>「支援者への支援の必要性Ⅲ－支援者を支えるものは何か－」（共著・筆頭）九州女子大学学術情報処理センター紀要 vol6（令和5年）</p> <p>「児童虐待防止に関する取り組みの現状と課題－保護者と子どもへの支援に向けて－」（共著・筆頭）九州女子大学紀要第60巻1号（令和5年）</p> <p>「気になる子どもに関わる保育者に対する個別的双方向的支援（Ⅰ）－保育者へのアンケートから見えること」（共著・筆頭）九州女子大学紀要第60巻2号（令和5年）</p> <p>○著書</p> <p>「障害のある子どもの保育・教育」（共著）建帛社</p> <p>「子ども中心の実践に学ぶ保育内容総論」（共著）建帛社</p> <p>○獲得している外部資金</p> <p>令和5年度科学研究費助成事業 代表者 研究課題；気になる子どもに関わる保育者に対する個別的双方向支援 研究種目：基盤研究 c 課題番号；22k02427</p> <p>研究期間；令和4年度～令和6年度</p> <p>○社会的活動（社会教育活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北九州市児童福祉施設等第三者評価委員 ・福岡市保育協会人権研修講師 ・福岡県私立幼稚園連盟研修会講師（気になる子ども） ・福岡県保育技術研修会講師 ・福岡県幼児教育アドバイザー 他 |

| | |
|-----------|---|
| 教員名 | 矢元 政行 |
| 職名 | 准教授 |
| 学歴・略歴 | 北海道教育大学教育学部美術学科卒業。公立小学校中学校教諭、室蘭市教育委員会教育指導参事、校長、室蘭市教育研究所室長を経て現職。 |
| 学位 | 学士 |
| 担当科目 | 造形表現論、こどもの指導法「造形表現」、こどもと造形、教職論 |
| メッセージ | 絵をかき、ものをつくり、造形あそび、自然を楽しむことが大好きになるような造形教育を目指します。 |
| 業績・社会的活動等 | <p>○著書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造形表現論（共著）豊岡短期大学通信教育部 2019年 <p>○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者養成における造形能力と造形指導のあり方～造形活動のえがく領域における教材研究を通して～ 豊岡短期大学論集第18号 2022年 <p>○展覧会（タイトル、開催年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漂泊の位置展 ギャラリー風 2020年 ・矢元政行小品展 ～予感～ 札幌北都館ギャラリー 2020年 ・矢元政行小品展 ～不確かな情景～ 札幌北都館ギャラリー 2021年 ・矢元政行展 ～眠らない世界～ 札幌北都館ギャラリー 2022年 ・道南の風・光 ～美術を愛する教師たち～ 室蘭市民美術館 2023年 <p>○社会的事項（社会教育活動）（所属学会・役員・委員会・講演・研修会講師）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MOA美術館30周年記念講演 伊達市カルチャーセンター 室蘭市文化センター「琳派の魅力」 2018年 ・MOA美術館室蘭・登別児童作品展 審査委員長 2019年 ・行動美術絵画講評会講師 2023年 <ul style="list-style-type: none"> ・税に関する絵ハガキコンクール 審査委員長 2023年 ・室蘭市教育相談員 2018～2019年 ・全道造形教育連盟 会員 ・全道美術協会 会員 ・行動美術協会 会員 <p>○その他特記事項</p> <p>資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭 |

| | |
|-----------|---|
| 教員名 | 前川 洋子 |
| 職名 | 准教授 |
| 学歴・略歴 | 日本女子大学大学院家政学研究科児童学専攻修了。専門学校非常勤講師を経て現職。 |
| 学位 | 修士 |
| 担当科目 | こども家庭支援論、子育て支援こどもの発達と家庭支援、発達心理学、教育心理学、乳幼児保育、乳幼児保育Ⅰ、乳幼児保育Ⅱ、特別支援教育 |
| メッセージ | |
| 業績・社会的活動等 | <p>○著書</p> <p>「保育の心理学演習ブック」（共著）ミネルヴァ書房 2016年</p> <p>「家庭支援論」（共著）一藝社 2018年</p> <p>「こども家庭支援論」（単著）豊岡短期大学通信教育部 2019年</p> <p>「特別支援教育」（共著）豊岡短期大学通信教育部 2019年</p> <p>「子ども家庭支援論」（共著）一藝社 2020年</p> <p>「はじめまして、子どもの権利条約ワークブック」（共著）東海教育研究所 2020年</p> <p>「保育の心理学演習ブック第2版」（共著）ミネルヴァ書房 2021年</p> <p>○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他）</p> <p>「保育学科生の障害児と家族に対する意識」（単著）日本教育カウンセリング学会研究会発表論文集 2014年</p> <p>『『保育相談支援』科目におけるカウンセリング的授業展開』（単著）日本保育学会 2015年</p> <p>「保育者養成におけるカウンセリング知見を含む授業展開」（単著）日本保育学会 2016年</p> <p>「キリスト教保育の実践と教育的意義」（単著）全国保育士養成協議会研究大会 2016年</p> <p>「保護者対応に活かす読み合いワーク」（単著）豊岡短期大学紀要「論集第13号」2016年</p> <p>「キリスト教保育の実践と教育的意義」（単著）草苑保育専門学校紀要 2017年</p> <p>「障害児と家族に対する象徴的相互作用—教育における心理的作用の一考察」（単著）豊岡短期大学紀要「論集第14号」 2017年</p> <p>「多国籍子育て家庭に対応する保育者養成の課題～今日的課題を含む英語コミュニケーション科目の検討～」(単著) 日本保育者養成教育学会研究大会抄録 2018年</p> <p>「多国籍子育て家庭に対応する保育者養成の課題」(共著) 草苑保育専門学校紀要 2018年</p> <p>「低学力学生の特別支援検討～LDかもしれない～」(単著) 日本教育カウンセリング学会研究発表論文集 2018年</p> <p>「子育て支援のために職員間の連携と協働の課題」(単著) 日本教育カウンセリング学会研究発表論文集 2018年</p> <p>「保育者養成校学生が生き方に影響を受けた人間関係に関する調査研究～未来の子育て支援者として～」(共著) 日本保育学会 2019年</p> <p>「多国籍子育て家庭支援に対する保育者養成の課題—媒介後の英語に着目して—」(単著) 豊岡短期大学論集第15号 2019年</p> <p>「ミドルリーダーと若手保育者のジェネレーションギャップに関する実証的研究」(共著) 創価大学教育学会研究論文集 2020年</p> <p>「現職保育者と保育者志望学生の幼児に対する言葉かけに関する実証的研究—配慮が必要なこどもの姿にも着目して—」(共著) 日本保育学会 2020年</p> <p>「児童館活動における子どもの権利の尊重について検討」(共著)</p> <p>一般財団法人児童健全育成推進財団 2019年度児童健全育成研究助成第5回助成研究 一</p> |

般財団法人児童健全育成推進財団研究報告書 2020 年（令和 2 年 1 月）

「保育者養成校学生が考えるコロナ禍の幼児の姿と保育者の役割」（共著）日本保育者養成教育学会 2021 年

「保育者を志す学生の心のよりどころ人物－幼少期を回想して－」（単著）日本教育カウンセリング学会研究発表論文集 2021 年

「保育者養成校学生が考えるコロナ禍の幼児の姿と保育者の役割－昨年との比較－」（共著）日本保育者養成教育学会 2022 年

「保育者を志す学生の心のよりどころ場所－幼少期を回想して－」（単著）日本教育カウンセリング学会研究発表論文集 2022 年

「中堅保育者以上の 3 歳児に対する言葉かけ技法に関する実証的研究－配慮が必要な姿を中心として－」（共著）中日教育研究学会 2023 年

「熟達保育者の幼児に対する言葉かけ技法に関する実証的研究」（共著）日本保育学会 2023 年

「ミドルリーダーと若手保育者のジェネレーションギャップに関する実証的研究－保育者のナラティブ事例の一考察－」（単著）豊岡短期大学論集第 19 号 2023 年

○社会的活動（社会教育活動）

・日本教育カウンセリング学会・日本保育者養成教育学会・日本カウンセリング学会・日本保育学会・日本子ども家庭福祉学会・日本教育心理学会

・NPO 日本子どもの安全教育総合研究所 理事

・文部科学省教員免許状更新講習 講師（2012 年～2020 年）

・都内社会福祉法人保育研修講師（2012 年～）

・東京都社会福祉協議会保育士就職セミナー講師（2017 年～現在）

○その他特記事項（免許・資格・受賞歴）

免許・資格

・教育カウンセラー

・幼稚園教諭専修免許

・保育士

・産業カウンセラー

・THP 指導員 心理相談員

・交流分析士

・日本教育カウンセリング学会サイエンティストプラクティショナー賞 2019 年

・子育て支援教育カウンセラー

| | |
|-----------|--|
| 教員名 | 天野 佐代子 |
| 職名 | 准教授 |
| 学歴・略歴 | 京都女子大学大学院家政学研究科児童文化学専攻修了。インターナショナルスクールの幼稚園教諭・日本語教師、中学校・高等学校講師を経て現職。 |
| 学位 | 修士（児童文学） |
| 担当科目 | 言葉とこどもの文化、こどもの指導法「言葉」、こどもの指導法「言語表現」 |
| メッセージ | おはなしを通して、語る楽しさ、聞く楽しさを体験します。 色々な昔話や物語に触れ、言葉やストーリーの面白さを感じてみましょう。 |
| 業績・社会的活動等 | <p>○著書 「言葉とこどもの文化」（共著） 豊岡短期大学通信教育部 2018年</p> <p>○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他） 「児童文化財を用いた感染症予防一手指衛生指導のための絵本・紙芝居」豊岡短期大学論集第17号 2021年</p> <p>○学会発表 「児童文化財を用いた感染症予防一手指衛生指導のための絵本・紙芝居」日本乳幼児教育学会第31回大会 2021年</p> <p>○その他特記事項 免許、資格 ・幼稚園教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状、高等学校教諭免許一種免許状（英語）</p> |

| | |
|-----------|---|
| 教員名 | 近藤 章 |
| 職名 | 准教授 |
| 学歴・略歴 | 同志社大学工学部科学工学科卒業、佛教大学通信教育部教育学科修了。兵庫県公立小学校教員、教頭、校長幼稚園園長兼務を経て現職。 |
| 学位 | 工学士 |
| 担当科目 | 言葉とこどもの文化、こどもの指導法「言葉」、こどもの指導法「言語表現」、地域ボランティア |
| メッセージ | |
| 業績・社会的活動等 | <p>○著書 「言葉とこどもの文化」（共著）豊岡短期大学 2018年</p> <p>○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他） 「話すこと・聞くこと」（単著）香美町小学校国語研究会 2011年 「文章を読み解く鍵」（単著）香美町小学校国語研究会 2012年 「学校図書館の役割」（単著）但馬小学校図書研究会 2013年 「単元構想」但馬小学校国語研究会 2013年 「国語科の果たす役割」（単著）香美町小学校国語研究会 2013年 「人とのつながり、生活を豊かにする言葉の力を高める」（共著） 香美町立柴山小学校研究紀要 2013年 「話し合い活動を高める対話」（共著）香美町立柴山小学校研究紀要 2014年 「新美南吉『ごんぎつね』の研究」（共著） 豊岡短期大学紀要「論集第13号」2016年 「保幼小連携にむけた絵本の活用」（単著） 豊岡短期大学紀要「論集第14号」2017年</p> <p>○その他特記事項 免許・資格 ・小学校教諭免許 ・社会教育主事</p> |

| | |
|-----------|--|
| 教員名 | 片岡 巧 |
| 職名 | 准教授 |
| 学歴・略歴 | 鳥取大学教育学部小学校課程卒業。兵庫県公立小学校教諭、教頭、校長を経て現職。 |
| 学位 | 学士 |
| 担当科目 | スポーツ（実技）、環境論、こどもの指導法「環境」、こどもと体育、教育実習、保育実習Ⅰ、保育実習指導Ⅰ、保育実習Ⅱ、保育実習Ⅲ、教育実習事前・事後指導、保育・教職実践演習、保育実習指導Ⅱ、保育実習指導Ⅲ |
| メッセージ | |
| 業績・社会的活動等 | <p>○著書</p> <p>「保育・教職実践演習」（共著）豊岡短期大学通信教育部 2023年</p> <p>○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他）</p> <p>『『読者論』に立つ読みの指導』（共著）東洋館出版社 1995年</p> <p>「福祉・健康教育をめざした総合学習」（共著）黎明書房 1999年</p> <p>「フレンドリー活動」（単著）三方小学校研究紀要 2006年</p> <p>「健康な体」（単著）三方小学校研究紀要 2007年</p> <p>「体育学習を通して」（単著）高橋小学校研究紀要 2013年</p> <p>「他校種との連携」（単著）三方小学校研究紀要 2010年</p> <p>「環境教育の取組」（単著）高橋小学校研究紀要 2013年</p> <p>「特色ある学校づくり（授業改革を核にした学校づくり（算数科）」（単著）三方小学校研究紀要 2006年</p> <p>「特色ある学校づくり（授業改革を核とした学校づくり（特別活動）」（単著）三方小学校研究紀要 2010年</p> <p>「保育・教職実践演習の充実に向けて」一考察（共著） 豊岡短期大学紀要「論集第13号」2016年</p> <p>『『草花遊びの実践に向けて』～若い保育者による環境教育の実践に向けて～』（共著）豊岡短期大学紀要「論集第14号」 2017年</p> <p>○社会的活動（社会教育活動）</p> <p>研修会講師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊岡小学校校長研修会 2013年 <p>○その他特記事項</p> <p>免許・資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校教諭免許 |

| | |
|-----------|--|
| 教員名 | 芦田 哲 |
| 職名 | 准教授 |
| 学歴・略歴 | 甲南大学経営学部経営学科卒業、佛教大学通信教育部教育学科修了。公立小学校、兵庫県教育委員会但馬教育事務所主幹兼教育推進課長、小学校校長、幼稚園園長を経て現職。 |
| 学位 | 学士 |
| 担当科目 | 教育原理、教育方法論、教育実習、保育実習Ⅰ、保育実習指導Ⅰ、保育実習Ⅱ、保育実習Ⅲ、教職論、教育実習事前・事後指導、保育・教職実践演習、保育実習指導Ⅱ、保育実習指導Ⅲ |
| メッセージ | |
| 業績・社会的活動等 | <p>○著書</p> <p>「保育・教職実践演習」(共著) 豊岡短期大学通信教育部 2023年</p> <p>「教育方法論」(共著) 豊岡短期大学通信教育部 2019年</p> <p>○論文等(学術論文・紀要論文・研究報告書・その他)</p> <p>「共同的経験をはぐくむ保育の充実を目指して」平成22年度但馬地区幼稚園教育研究大会 2010年</p> <p>「心をつなぎ共に育つ保育－思いを伝え合う力をはぐくむ－」平成24年度但馬地区幼稚園会教育研究大会 2012年</p> <p>「保幼小連携教育の推進」豊岡市北地区幼稚園会公開保育 2007年</p> <p>「幼稚園における学校評価について」但馬教育事務所「但馬地区幼稚園教育理解推進事業」2013年</p> <p>「深い児童理解と信頼の下、関わり合う力を育てる生徒指導の推進と校長の在り方」2011年</p> <p>「新たな時代に向けた教員養成の改善方策についての一考察」(单著) 豊岡短期大学紀要「論集第13号」2016年</p> <p>「教員の資質能力向上の研修の在り方」(单著) 豊岡短期大学紀要「論集第14号」2017年</p> <p>「倉橋惣三と幼稚園教育要領」(单著) 豊岡短期大学紀要「論集第20号」2023年</p> <p>○社会的活動(社会教育活動)</p> <p>但馬地区小学校長会会長 2011年</p> <p>○その他特記事項</p> <p>受賞歴</p> <p>兵庫県教育功労者表彰</p> <p>免許、資格</p> <p>小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭免許</p> |

| | |
|-----------|---|
| 教員名 | 平林 一利 |
| 職名 | 准教授 |
| 学歴・略歴 | 東洋大学大学院文学研究科国文学専攻博士後期課程単位取得満期退学。埼玉短期大学専任講師、東洋大学、大妻女子大学、二松学舎大学、都留文科大学、明治大学等の非常勤講師を経て現職 |
| 学位 | 修士（文学） |
| 担当科目 | 言葉とこどもの文化、こどもの指導法「言葉」、こどもの指導法「言語表現」 |
| メッセージ | 絵本は子どもが言葉を習得する際に大切な役割をしています。たくさんの絵本をしっかりと読んでくださいね。 |
| 業績・社会的活動等 | <p>○著書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本語研究法【近代語編】」（共著） おうふう 2016年 ・「言葉とこどもの文化」（共著） 豊岡短期大学 2018年 <p>○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「国文学科国語学分野における教育実践と新たな試み（1）－「主体的・対話的で深い学び」の体験をめざして－」（共著） 国語国文学の教育法 研究と報告 第1号 都留文科大学国文学科編 2017年 ・『浮雲』の接頭辞「御」について 豊岡短期大学 論集 第14号 2018年 ・『ぐりとぐら』に見られる言葉 — 絵本の語彙研究のための一考察 — 豊岡短期大学 論集 第19号 2023年 <p>○学会発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『浮雲』の接頭辞「御」について」第200回青葉ことばの会（於、明治大学）2016年 <p>○社会的活動</p> <p>所属学会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語学会・訓点語学会・日本近代語研究会・解釈学会・日本語教育学会 <p>役員・委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青葉ことばの会 運営委員 2003年～現在 ・日本近代語研究会 会計監査 2010年～現在 |

| | |
|-----------|--|
| 教員名 | 肥後 耕生 |
| 職名 | 准教授 |
| 学歴・略歴 | 鹿児島大学大学院教育学研究科学校教育専攻修士課程修了。韓国・中央大学校大学院教育学科平生教育専攻博士課程修了。韓国・公州大学校韓国農村教育研究センター研究教授を経て現職。 |
| 学位 | 博士(教育学)Ph.D.in Education |
| 担当科目 | 教育原理、教育課程論、教育方法論、教職論 |
| メッセージ | 目標に向かって、たゆまぬ努力と挑戦を！ |
| 業績・社会的活動等 | <p>○著書</p> <p>「教育課程論」(単著) 豊岡短期大学 2021年</p> <p>「세계의 통합학교 - 제도과 운영 사례 (世界の統合学校 - 制度と運営事例)」(共著) ソンアンダン 2020年</p> <p>「教育方法論」(共著) 豊岡短期大学 2019年</p> <p>「躍動する韓国の社会教育・生涯学習 - 市民・地域・学び」(共著) エイデル研究所 2017年</p> <p>「황종건과 한국 사회교육 역사 (黄宗建と韓国社会教育の歴史)」(単著) 學而時習 2013年</p> <p>○論文等(学術論文・紀要論文・研究報告書・その他)</p> <p>「韓国の平生教育・この1年 - 2022~2023年 - 」(共著) 東アジア社会教育研究第28号 2023年</p> <p>「韓国の平生教育・この1年 - 2021~2022年 - 」(共著) 東アジア社会教育研究第27号 2022年</p> <p>「韓国の校長公募制：人口減少地域の学校活性化方策の機能に着目して」(共著) 兵庫県立大学環境人間学部研究報告第24号 2022年</p> <p>「韓国の平生教育・この1年 - 2020~2021年 - 」(共著) 東アジア社会教育研究第26号 2021年</p> <p>「韓国における校長公募制の運用実態と課題」(単著) 豊岡短期大学論集第17号 2021年</p> <p>「韓国の平生教育・この1年 - 2019~2020年 - 」(共著) 東アジア社会教育研究第25号 2020年</p> <p>「日韓基礎教育共同プロジェクトの成果と展望」(共著) 基礎教育保障学研究第4号 2020年</p> <p>「韓国の平生教育・この1年 - 2018~2019年 - 」(共著) 東アジア社会教育研究第24号 2019年</p> <p>「韓国の『第4次平生教育振興基本計画』がめざすもの」(単著) 東アジア社会教育研究第23号 2018年</p> <p>「学校自立化政策を活かした韓国小規模校活性化の取り組み：「小さな学校教育連帯」に着目して」(共著) 兵庫県立大学環境人間学部研究報告第20号 2018年</p> <p>「地域と連携・協働する学校づくりへの取り組み：学校存続の危機を克服してきた韓国小規模校に着目して」(単著) 豊岡短期大学論集第14号 2017年</p> <p>○翻訳</p> <p>「国際人権規約(A規約)批准と高等教育の漸進的無償化 - その経緯および取り組みと今後の課題 - 」(単訳) 神戸大学学術成果リポジトリ 2023年</p> <p>「教育財政が教育の機会均等に及ぼす影響」(単訳) 神戸大学学術成果リポジトリ 2023年</p> <p>「大学登録金の負担緩和のための韓国政府の政策的努力及び関連法律の変化」(単訳) 神戸大学学術成果リポジトリ 2022年</p> |

「1980年代の韓国での差別的な教育解消主張の再吟味：教育機会の平等の観点から」(単訳) 神戸大学学術成果リポジトリ 2022年

「韓国におけるメディア情報リテラシーの現状と諸問題」(監訳) 基礎教育保障学研究第5号 2021年

「"学びと闘争の空間"としてのノドゥル障碍人夜学」(単訳) 基礎教育保障学研究第4号 2020年

○書評

「李正連著『植民地朝鮮における不就学者の学び-夜学経験者のオーラル・ヒストリーをもとに-』」(単著) 基礎教育保障学研究第6号 2022年

○学会等発表

「グローバル文解(識字)のリーダー、K-文解教育の大跳躍」(討論) 韓国 教育部・忠清北道主催 2023年文解月間記念カンファレンス 2023年

「人口減少社会における学校と地域-教育エコシステム構築を目指す韓国マウル教育共同体づくりに着目して-」(共同発表) 日本教育行政学会第58回大会 2023年

「人口減少地域の学校と地域づくりを担う教職員像の研究(2)-韓国・忠清南道における公募校長の事例分析を通して-」(共同発表) 日本教育行政学会第56回大会 2021年

「人口減少地域の学校と地域づくりを担う教職員像の研究-公募校長に任用された韓国マウル教師のケーススタディを通して-」(共同発表) 日本教育行政学会第54回大会 2019年

「基礎教育保障システムの構築に向けた日韓共同研究(その2)」(共同発表) 日本社会教育学会第66回大会 2019年

「持続可能な社会構築を担う学校モデルの研究-韓国の小規模活性化事例に着目して-」(共同発表) 日本教育行政学会第53回大会 2018年

「基礎教育保障システムの構築に向けた日韓共同研究(その1)」(共同発表) 日本社会教育学会第65回大会 2018年

○競争的資金等の研究課題

「識字・基礎教育の領域横断的日韓比較研究-新たな格差と危機の解明と対応方策の提案」科学研究費補助金基盤研究(B)(24K00373 研究代表者:金 侖貞・東京都立大学) 研究分担者 2024年4月~2028年3月

「韓国農山村の内発的學校づくりと地域づくり-小規模校活性化事例の継続要因に着目して」科学研究費補助金基盤研究(C)(22K02333 研究代表者:尾崎公子・兵庫県立大学) 研究分担者 2022年4月~2025年3月

「人口減少地域の学校と地域づくりを担う教職員像の研究-韓国のマウル教師に着目して」科学研究費補助金基盤研究(C)(18K02393 研究代表者:尾崎公子・兵庫県立大学) 研究分担者 2018年4月~2022年3月

「東アジア先進国における基礎教育保障モデルの構築にむけた日韓比較研究」科学研究費補助金基盤研究(C)(18K02350 研究代表者:添田祥史・福岡大学) 研究分担者 2018年4月~2022年3月

「躍動するアジアにおける基礎教育保障のための共同探究ネットワークの構築」2017年度トヨタ財団国際助成プログラム・日韓基礎教育共同プロジェクト(代表者:上杉孝實・基礎教育保障学会) プロジェクトメンバー 2017年11月~2019年10月

「持続可能な社会構築を担う学校モデルの探究-韓国農山村の小規模校存続事例に着目して」科学研究費補助金基盤研究(C)(15K04310 研究代表者:尾崎公子・兵庫県立大学) 研究分担者 2015年4月~2018年3月

○社会的活動（社会教育活動）

所属学会

・日本社会教育学会・日本教育行政学会・基礎教育保障学会・九州教育学会・アジア教育学会

役員・委員会

- ・肝付町今後の学校の在り方検討委員会 委員 2023年～現在
- ・肝付町内之浦日韓交流推進協議会 理事 2017年～現在
- ・NPO 学びと文化、地域生活研究所 理事 2015年～現在

研修会講師

- ・肝付町内之浦日韓交流推進協議会主催 韓国語講座 講師 2018年～現在

○その他特記事項

免許・資格

・中学校教諭専修免許状(保健)・高等学校教諭専修免許状(保健)・社会教育主事任用資格・社会福祉主事任用

| | |
|-----------|--|
| 教員名 | 前田 豊稔 |
| 職名 | 准教授 |
| 学歴・略歴 | 神戸大学大学院教育学研究科（美術教育学専攻）修士課程修了。 神戸大学教育学部附属住吉小学校文部教官教諭及び西宮市立小中学校教諭。 甲南女子大学人間科学部総合子ども学科准教授を経て現職。 |
| 学位 | 教育学修士 |
| 担当科目 | 造形表現論、こどもの指導法「造形表現」、こどもと造形、 |
| メッセージ | こどもの造形にかかわる保育の仕事は、こどもが表現の喜びの中で自由な身体とこころ、そしてとらわれない頭脳をつくっていくことをサポートする仕事です。 やればやるほど、工夫すればするほど、ゆしみ深いこととなるでしょう。 |
| 業績・社会的活動等 | <p>○著書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業を楽しくする図画工作+α アイデア集」（共著）明治図書 2008年 ・「中学校・高校美術科『ニューヒット教材集1』絵画・平面造形編」（共著）明治図書 2009年 ・「造形表現論」（共著）豊岡短期大学 2019年（担当 第1章～第4章） <p>○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修士論文「児童生徒の美術的表現構造の構築に向かう学習に関する試論」単著 神戸大学大学院教育学研究科 1988年 ・「被災地のこいのぼり：覚醒するこいのぼりという造形」単著 第34回美術科教育学会新潟大会研究紀要（新潟大会）2012年 ・「崩壊していた『点字の聖書』」単著 京都科学「点字の聖書」修理報告 2012年 ・「子どもの成長～おもちゃ遊び」共著 子ども第16回甲南女子大学国際子ども学研究センター 2013年 ・「甲南女子大学キャンパスに於ける創造的文化空間の創設に関する調査研究」（2011年4月～2014年3月）主宰（「同発表会」2014年3月甲南女子大学） ・「学校で絵を描くということ～アフリカの子どもから考える～」共著 子ども学第18号甲南女子大学国際子ども学研究センター 2016年 ・「こどもの表現から見た弥生絵画「鳥装の巫女」への一考察（1）—こどもと古代の造形—」単著 豊岡短期大学紀要「論集 第14号」2018年 ・「福来四郎アートコミュニケーションプロジェクト（1）—触覚を中心とした感受アート授業の実践から—」共著 美術教育 No.307 2023年 日本美術教育学会 <p>○学会発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「被災地のこいのぼり：覚醒するこいのぼりという造形」 第34回美術科教育学会新潟大会 2012年 ・「こどもの表現から見た弥生絵画「鳥装の巫女」への一考察（1）—こどもと古代の造形—」日本美術教育学会第67回大会 三重 2018年 ・「福来四郎アートコミュニケーションプロジェクト（1）—触覚を中心とした感受アート授業の実践から—」共同発表 日本美術教育学会第71回大会 瀬戸内 2022年 <p>○美術展覧会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前田豊稔作品展 震災5周年記念 2000年 ・団体展、各種グループ展 多数出品 <p>○社会的活動（社会教育活動）</p> <p>所属学会</p> |

- ・日本美術教育学会 ・こども環境学会 ・日本奥山学会 ・イワクラ（磐座）学会
 - ・アメニティ 2000 協会 他
- 活動
- ・「タイ・生き直しの学校を訪ねる旅」副団長（2011年8月～2014年8月）
 - ・「シリーズ・世界を変える女性たち シンポジウム『陶芸家・荒木高子の深淵』」企画・運営（2012年2月 甲南女子大学）
 - ・「福島の子供とともに 神戸ワーキング・ホリデイ 2012」企画・運営（2012年8月 ヴォーリズ六甲山荘）
 - ・「視覚障害者のための美術鑑賞プログラム—彫刻を音で見る—」企画・運営・司会（2014年3月 西宮市立大谷記念美術館）
 - ・「うたって おどって あそびうた！ あそびうたフェスタ」企画・運営（2014年11月 日本子育て学会第7回大会 甲南女子大学）
 - ・兵庫県下、地域における教育実践・研究会への講師としての出講、多数。
 - ・こどもの造形及び絵本コンクールの審査委員など、多数。
 - ・「西宮造形研究会」代表
 - ・こどもにはもっと自然を「ナチュラル アートハウス」代表
 - ・こどもをアートで支える「アートハウス 西宮」代表
- その他の特記事項
- 資格
- ・中学校教諭 1 級普通免許状（美術）
 - ・高等学校教諭 1 級普通免許状（美術）
 - ・高等学校教諭 2 級普通免許状（工芸）

| | |
|-----------|---|
| 教員名 | 狩野 理恵子 |
| 職名 | 准教授 |
| 学歴・略歴 | 華頂短期大学幼児教育科・佛教大学教育学部教育学科修了 京都府八幡市立幼稚園長 京都文教短期大学幼児教育学科講師 大阪大谷大学非常勤講師などを経て現職 京都府教育庁 学校教育課幼児教育アドバイザー兼務 |
| 学位 | 学士(教育学) |
| 担当科目 | 環境論、こどもの指導法「環境」、教育実習、保育内容総論、教育実習事前・事後指導、 |
| メッセージ | 40年間、幼稚園で勤務し、現在も幼児教育アドバイザーとして、保育の現場に携わっています。 たくさんの実践事例をもとに理論と重ね合わせ、保育の魅力と保育者としての心構えなどをお 伝えしたいと思います。素敵な先生を目指し、楽しく学びましょう。 |
| 業績・社会的活動等 | <p>○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの育ちと学びをつなぐ幼小連携・接続の重要性と実践について(共著) 豊岡短期大学 論集第19号 2022年 ・幼稚園教育実習指導における指導案作成に向けたチェックシートの開発と活用(共 著) 京都文教短期大学研究紀要第60集 2022年 ・平成27年度研究集録 幼児教育の質の向上を目指した園経営 「支えあい、育ちあい、分か ちあう仲間」～やった！できた！うれしいね！～(共著) 全国国公立幼稚園・こども園長会 2016 年 ・研究のあゆみ「支えあい、育ちあい、分かちあう仲間」～つながる喜びを感じ、遊び込める子 どもをめざして～(共著) 八幡市立八幡第二幼稚園 2014年 <p>○学会発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25・26年度研究指定園研究発表会「支えあい、育ちあい、分かちあう仲間」～つながる喜 びを感じ、遊び込める子どもをめざして～ 京都府公立幼稚園教育研究会 2014年 ・第52回近畿国公立幼稚園・こども園長会研究会「支えあい、育ちあい、分かちあう仲間」～や った！できた！うれしいね～ 近畿国公立幼稚園・こども園長会連絡協議会 2015年 <p>○社会的活動</p> <p>所属学会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本保育学会 ・全国幼児教育研究協会 <p>役員・委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八幡市教育委員 2021年～現在 ・京都府幼児教育センター 幼児教育アドバイザー 2019年～現在 ・八幡市こども子育て会議 委員 2016～2022年 ・京都府公立幼稚園長会 役員 2006～2009年 ・京都府公立幼稚園幼児教育研究会 会長・役員 2010～2013年 ・京都府八幡市幼稚園長会 会長 2014～2016年 <p>研修会講師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府総合教育センター 「幼稚園教諭・保育教諭講座」 講師 2021年～現在 ・宇治市幼稚園教育研究会 研修会 講師 2021・2022・2023年 ・宇治市幼児教育研修講座 講師 2022・2023年 ・京都府中丹地域保育所・幼稚園・小学校連携推研修会 講師 2020・2022年 ・京都府幼児教育センター 研修動画配信 2020・2021・2023年 ・八幡市立幼稚園教育研究会 研修会 講師 2021年 ・京都府与謝野町教育研究会認定こども園部会研修会 講師 2021年 |

- ・京都府乙訓教育局 研修会 講師 2022 年
 - ・京都府大山崎町教育委員会保幼小中連携推進会議 講師 2023 年
 - ・京都府相楽東部広域連合教育委員会保小中連携推進会議 講師 2022 年～現在
 - ・京都府乙訓小学校教育研究会生活科部会研修会 講師 2022 年
 - ・京都府綾部市学校教育研究会幼年部研修会 講師 2022 年
 - ・京都府山城地方「育ちと学びをつなぐ」連携会議 講師 2022 年
 - ・京都府公立幼稚園・こども園教育研究会冬季研修会 講師 2022 年
 - ・R4 年度「公立小学校と幼児教育施設との協働による幼小接続」事業研究協議会 講師
2022 年
 - ・京都府城陽市幼保小連携推進会議 研修会 講師 2023 年
 - ・京都府八幡市幼小プロジェクト会議 講師 2023 年 他
- その他特記事項
- 資格
- ・幼稚園教諭

| | |
|-----------|--|
| 教員名 | 菅原 峰子 |
| 職名 | 講師 |
| 学歴・略歴 | 上野学園大学音楽学部声楽科卒業。音楽個人レッスン指導のほかステージ活動を行い、専門学校非常勤講師を経て現職。 |
| 学位 | 学士 |
| 担当科目 | 音楽表現論、こどもの指導法「音楽表現」 |
| メッセージ | |
| 業績・社会的活動等 | <p>○著書</p> <p>「こどもの指導法「音楽表現」」（共著） 豊岡短期大学通信教育部 2021年</p> <p>「音楽表現論」（共著） 豊岡短期大学通信教育部 2019年</p> <p>○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他）</p> <p>「こどもと一緒に歌おう 大人のための童謡練習法」（単著） 登別市教育委員会 2008年</p> <p>「音楽会を作ろう」（単著） 北海道室蘭市立桜ヶ丘小学校 2009年</p> <p>「音楽の持つ力」（単著） 海星学院高等学校 2013年</p> <p>「音楽が伝える力」（単著） 海星学院高等学校 2013年</p> <p>「こどもの発育と音楽表現」（単著） 海星学院高等学校 2014年</p> <p>「生きる第一歩と音楽の力」（単著） 豊岡短期大学通信教育部論集第15号 2019年</p> <p>「生きていく為の感情コントロールと「歌の力」」（単著） 豊岡短期大学通信教育部論集第17号 2021年</p> <p>○展覧会・リサイタル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人オペラと日本の歌 2005年 ・第15回菅原峰子ソプラノリサイタル 2007年 ・オペラ&日舞&ヒップポップ 2008年（東京） ・心の歌コンサート 2009年（室蘭市） ・菅原峰子ソプラノリサイタル 2010年（東京） ・クリスマスチャリティーコンサート 2011年（室蘭市） ・ソロプチミストチャリティーコンサートマンドリンと共に（室蘭市） ・かっぽれとコラボレーション 2012年（室蘭市） ・勤医協コンサート 2013年（苫小牧市） ・クリスマスコンサート 毎年開催（登別市） ・菅原峰子ソプラノリサイタル音の花束（苫小牧市）苫小牧市民文化振興助成事業 2016年 ・菅原峰子心のうたコンサート（室蘭市）2017年 ・菅原峰子ソプラノコンサート（東日本大震災支援コンサート） 2017年 ・菅原峰子 童謡の世界（お話と歌） 2018年 ・室蘭市子育てプログラム（峰子先生と歌おう） 2018年 ・室蘭市子育てプログラム 移住者親子コンサート 親子で歌おう 2018年 ・菅原峰子ソプラノリサイタル「北海道胆振東部地震支援チャリティーコンサート」 2018年、2019年 ・菅原峰子クリスマスコンサート 登別ジュネス 2018年、2019年 <p>○社会的活動（社会教育活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際ソロプチミスト室蘭会員及び会長職 2002年～現在に至る <p>所属学会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本音楽療法学会会員 |

・日本音楽表現学会会員

○その他特記事項

免許、資格

- ・ヤマハエレクトーングレード3級
- ・音楽療法インストラクター
- ・メンタル心理ミュージックアドバイザー

| | |
|-----------|---|
| 教員名 | 廣田 邦生 |
| 職名 | 講師 |
| 学歴・略歴 | 国士舘大学体育学部体育学科卒業。公立中学校、高等学校、教頭、校長、専門学校非常勤講師を経て現職 |
| 学位 | 体育学士 |
| 担当科目 | スポーツ（実技）、健康論、表現とこどもの運動、こどもの指導法「健康」、こどもの健康と安全、こどもと体育 |
| メッセージ | こどもは幼児期から様々な遊びを通して環境の中で身体を動かして成長していきます。こどもたちが健康に育つために保育者としての充実した指導力を身につけさせるために日々研修していきます。 |
| 業績・社会的活動等 | <p>○著書</p> <p>「こどもと体育Ⅰ」（共著）改定編集（執筆代表） 豊岡短期大学 2016年</p> <p>「表現とこどもの運動」（共著）改定編集（執筆代表） 豊岡短期大学 2019年</p> <p>「表現とこどもの運動」（共著）改定編集（執筆代表） 豊岡短期大学 2023年</p> <p>「健康論」（共著）改定編集（執筆代表） 豊岡短期大学 2020年</p> <p>「健康論」（共著）新刊編集（執筆代表） 豊岡短期大学 2024年</p> <p>○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他）</p> <p>「幼児期における運動と体育指導の在り方について」（単著） 歌志内市 研究会 2005年</p> <p>「幼児期における生活指導の在り方」（単著） 子どもの権利条例研修研究会 2007年</p> <p>「教師としてのライフサイクル」（単著） 教育者資質向上研究会 2013年</p> <p>「幼児期の運動における身体活動の一考察」（単著） 豊岡短期大学紀要「論集第13号」 2016年</p> <p>「表現遊び運動指導の一考察」（単著） 豊岡短期大学紀要「論集第14号」 2017年</p> <p>「運動遊びと身体活動」（単著） 豊岡短期大学紀要「論集第17号」 2021年</p> <p>○社会的活動（社会教育活動）</p> <p>所属学会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国学校体育研究会 ・日本保育保健協議会 ・日本幼児体育学会 <p>役員・委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・釧路市教育研究所専門研究員（教育課程編成委員） 1976年 ・標津郡小中学校14地区教科用図書（保健体育）策定委員 2000年 ・北広島市子どもの権利条例策定委員 2005年～2008年 ・全国普通科高等学校長協会常任理事 2006年～2007年 ・北海道高等学校長協会普通部会副部会長 2006年～2008年 ・北海道高等学校長協会資質向上検討委員会理事 2006年～2007年 ・北海道高等学校教育研究会家庭部会部会長 2005年～2007年 <p>○その他特記事項</p> <p>受賞歴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道教育委員会永年勤続表彰 |

- ・全国学校体育研究会功劳賞
- ・全国高等学校家庭科研究会表彰

免許、資格

- ・小学校教員免許、中学校教員免許（保健体育）（国語）、高等学校教諭専修免許（保健体育）
- ・学校図書館司書教諭免許

| | |
|-----------|--|
| 教員名 | 渡辺 隼人 |
| 職名 | 講師 |
| 学歴・略歴 | 北海道大学大学院教育学院発達教育臨床論講座（特殊教育・臨床心理学）博士後期課程中途退学。現職 |
| 学位 | 修士（教育学） |
| 担当科目 | こどもの発達と家庭支援、発達心理学、教育心理学、特別支援教育 |
| メッセージ | |
| 業績・社会的活動等 | <p>○著書</p> <p>「特別支援教育」（共著）豊岡短期大学通信教育部 2019年</p> <p>「発達心理学」（共著）豊岡短期大学通信教育部 2024年</p> <p>○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他）</p> <p>「Semi-automated brain responses in communication: A magnetoencephalographic hyperscanning study」（共著）Proceedings of the Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society, 2020年</p> <p>「Construction of a fiber-optically connected MEG hyperscanning system for recording brain activity during real-time communication」（共著）PLoS ONE, 2022年</p> <p>「Magnetoencephalography Hyperscanning Evidence of Differing Cognitive Strategies Due to Social Role During Auditory Communication」（共著）, Frontiers in Neuroscience, 2022年</p> <p>「Brain activity supporting alternating speech for semantic words: simultaneous magnetoencephalographic recording」（共著）, Cerebral Cortex, 2024年</p> <p>「アバターおよびそのコミュニケーションによる顔認知領野の脳活動」（共著）、日本医療大学紀要、2024年</p> <p>「コミュニケーションの脳科学～脳磁場ハイパースキャニングの知見」（共著）、認知神経科学、2024年</p> <p>○学会発表</p> <p>「リアルタイムコミュニケーションを計測するための dual MEG システムの構成」日本生体磁気学会第 34 回大会 2019年</p> <p>「dual MEG システムを用いたコミュニケーション時の脳活動計測」日本脳電磁図トポグラフィ研究会第 36 回大会 2019年</p> <p>「右前頭領域におけるコミュニケーション関連脳活動」日本生体磁気学会第 35 回大会 2020年（受賞）</p> <p>「ハイパースキャニングに用いる 2 台の脳磁計で推定した脳活動位置の比較」日本生体医工学会第 60 回大会・日本生体磁気学会第 36 回大会 2021年</p> <p>「Autism spectrum Quotient 下位項目得点は個人の Autism spectrum disorder 認知特性を予測しうる」日本脳電磁図トポグラフィ研究会第 38 回大会・日本薬物脳波学会第 24 回大会 2022年</p> <p>「ハイパースキャニングに用いる 2 台の脳磁計で推定した脳活動位置の比較(2)」日本生体磁気学会第 37 回大会 2022年</p> <p>「Modulation of M100 amplitude for tones of different frequencies at equal sound pressure level」The 22nd International Conferences on Biomagnetism 2022年</p> <p>「級内相関係数による α 帯域脳活動の信号源位置の比較-MEG ハイパースキャニングの実装のために」日本生体医工学会第 62 回大会 2023年</p> <p>「Construction of a fiber-optically connected MEG hyperscanning system for recording brain</p> |

activity during real-time communication」(受賞講演) ISACM and JBBS 2023 OSAKA 2023年

「統合失調症用のタブレット版認知機能検査の開発」 第18回日本統合失調症学会 2024年

「シンポジウム 人と顔を合わせる－顔認知への新たな神経科学的アプローチ：直接「顔を合わせる」ことの社会脳機能への影響－オンライン対面との比較から」 第39回日本生体磁気学会 2024年

「シンポジウム 人と人とのコミュニケーション神経生理学：音楽コミュニケーションの神経生理学」 第54回日本臨床神経生理学会 2024年

○社会的活動(社会教育活動)

所属学会

- ・日本生体磁気学会
- ・日本生体医工学会
- ・日本脳電磁図トポグラフィ研究会
- ・International Society for the Advancement of Clinical Magnetoencephalography
- ・ハイパースキャニング・ワーキングメモリ研究会(主催)

研修会講師

「自閉症について まじめに『なんで』を考える」 中頓別保健センター 講演

○その他特記事項

受賞歴

北海道心理学会研究奨励賞 2013年

日本生体磁気学会若手研究者(U-35)奨励賞 2020年

日本生体磁気学会奨励論文賞 2023年

免許、資格

- ・中学校教諭・高等学校教諭・養護学校教諭免許

| | |
|-----------|--|
| 教員名 | 井口 美和 |
| 職名 | 講師 |
| 学歴・略歴 | 佛教大学通信教育部文学部教育学科卒業。札幌市立幼稚園教諭、園長を経て現職。 |
| 学位 | 文学学士 |
| 担当科目 | 教育実習、教育実習事前・事後指導、保育・教職実践演習、 |
| メッセージ | 私も通信教育経験者です。幼児の笑顔が待っています、保育者を目指しましょう。 |
| 業績・社会的活動等 | <p>○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「親も子も育つ」日本教育新聞 2008～2009年 ・「幼稚園の子育て支援」「幼稚園じほう」国公立幼稚園長会 2010年 ・「地域等の課題に応じた教育課程研究事業」国立教育施策研究所教育課程研究センター 2010年 ・「教育実習事前模擬保育の『振り返り』の改善」豊岡短期大学論集第14号 2018年 ・「保育者養成課程で学ぶ『専門学校生』の実習不安と自己成長感に関する研究－1年次と2年次調査による考察－」（共著）豊岡短期大学論集第15号 2019年 ・「保育者養成課程で学ぶ『専門学校生』の実習前後の想いと自己成長感に関する研究－2年間の縦断的調査による研究－」（共著）豊岡短期大学論集第16号 2020年 ・「保育者養成校における絵本の選書に関する研究」（共著）豊岡短期大学論集第17号 2021年 ・「学生の絵本選書意識に関する研究－絵本に関する授業前後の意識調査による考察－」（共著）札幌大谷大学短期大学部紀要51号 2021年 ・「保育者を目指す学生の読書経験と子どもの頃の読み聞かせに関する研究－3年間の質問紙調査による検討－」（共著）豊岡短期大学論集第18号 2022年 ・「保育者養成課程で学ぶ『専門学校生』の実習への想いに関する研究－実習を通しての意識の比較－」（共著）豊岡短期大学論集第19号 2023年 ・「通信教育生」の教育実習後の振り返りからの「学び」の考察 豊岡短期大学論集第20号 2024年 <p>○学会発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「実習力アップにつながる実習事前指導」1(共同研究) ポスター発表 日本保育学会第69回大会（於東京学芸大）2016年 ・「実習力アップにつながる実習事前指導 2－実習力を再考する－」2（共同研究）ポスター発表 日本保育学会第70回大会（川崎医療大）2017年 ・「実習力アップにつながる実習事前指導 3－模擬保育を考える－（共同研究）」ポスター発表 日本保育学会第71回大会（宮城学院女子大） 2018年 ・「実習力アップにつながる実習事前指導 4－模擬保育に着目して－（共同研究）」ポスター発表 日本保育学会第71回大会（宮城学院女子大） 2018年 ・「実習力アップにつながる実習事前指導 5－模擬保育を通して－」ポスター発表 日本保育学会第72回大会（大妻女子大）」 2019年 ・「保育者養成校における絵本の選書に関する研究（1）－保育所実習と幼稚園実習との比較－」（共同研究）日本保育学会第73回大会 2020年 ・「保育者養成校における絵本の選書に関する研究（2）」－「絵本に関する授業前後における学生の意識の変化－」（共同研究）日本保育学会第73回大会 2020年 ・「児童文学受講による絵本選書の視点に関する研究(1)－受講前後の実習による検討－（共同研究）」日本保育学会第74回大会（オンライン）2021年 ・「児童文学受講による絵本選書の視点に関する研究(2)－対面授業と遠隔授業の比較による検 |

| | |
|--|--|
| | <p>討一」(共同研究)日本保育学会第74回大会(オンライン)2021年</p> <ul style="list-style-type: none">・「コロナ禍で保育学生が抱く不安に関する研究—実習経験を踏まえた児童文学の授業に向けて—」(共同研究)ポスター発表 日本保育学会第75回大会(オンライン)2022年 <p>○社会的活動(社会教育活動)</p> <p>所属学会</p> <ul style="list-style-type: none">・日本保育学会・北海道乳幼児療育研究会 <p>○その他特記事項</p> <p>免許・資格</p> <ul style="list-style-type: none">・幼稚園教諭、養護学校教諭免許 |
|--|--|

| | |
|-----------|--|
| 教員名 | 岸 靖亮 |
| 職名 | 講師 |
| 学歴・略歴 | 北海道大学大学院教育学研究科（発達教育臨床論講座）修士課程修了。医療法人社団北海道子ども心療内科氏家医院脳波測定技師、社会福祉法人麦の子会むぎのこ発達クリニック心理士、学校法人西野学園非常勤講師、北海道介護福祉学校非常勤講師を経て現職。 |
| 学位 | 修士（教育学） |
| 担当科目 | こどもの理解と援助、発達心理学、教育心理学 |
| メッセージ | 「ヒトの心」を科学的に分析する力を身に着けてみませんか。 |
| 業績・社会的活動等 | <p>○著書 「保育の心理学－育ってほしい10の姿」（共著） 中山書店 2022年</p> <p>○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他） 「他者操作を目的とした非道徳的な嘘をつく時の腹外側前頭前皮質の役割」（共著）東京農業大学教職研究収録第9号 2024年 「他者を誘導する意図性が嘘をつく時の腹外側前頭前皮質の活動に与える影響－道徳研究への展開に向けて－」（共著）豊岡短期大学論集論集第20号 2024年 「欺きのメカニズムに関する研究－脳機能並びに心の理論と関連性－」（単著）北海道大学大学院教育学研究紀要第117号 2011年 『自身のウソ』と『他者のウソ』に対する認知活動の検討」（単著）日本生理心理学会 2012年 「ウソの検出」（単著）日本心理学会 2012年 「会場場面の嘘における腹外側前頭前野の活動変化」（単著）日本生理心理学会 2012年 「他者の操作を目的とした欺きに関する脳活動の検討」（単著）日本生理心理学会 2014年 「欺き時における脳血流の増大は意図性と課題難易度どちらかによるものか」（単著）日本生理心理学会 2015年 「3歳児の嘘に現れる社会性と腹外側前頭前野活動」（単著）日本生理心理学会 2016年 「対面者に嘘をつく時の腹外側前頭前皮質活動－近赤外線分光法による検討－」（単著）北海道児童青年精神保健学会会誌31号 「疑いの心的構えが嘘発言時と認知時の腹外側前頭前野活動に及ぼす影響」（単著）日本生理心理学会 2018年 「事実の暴露とウソの協力時における腹外側前頭前野活動」（単著）日本生理心理学会 2019年 「道徳観を偽る時の前頭部脳活動の検討」（単著）日本生理心理学会 2023年</p> <p>その他 ○社会的活動（社会教育活動） 所属学会 ・日本生理心理学会 ・北海道児童青年精神保健学会</p> |

| | |
|-----------|---|
| 教員名 | 齋藤 淳子 |
| 職名 | 講師 |
| 学歴・略歴 | 国立音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業。ピアノ講師、高等学校非常勤講師を経て現職。 |
| 学位 | 芸術学士 |
| 担当科目 | 音楽表現論、こどもの指導法「音楽表現」 |
| メッセージ | |
| 業績・社会的活動等 | <p>○著書 「音楽表現論」(共著) 豊岡短期大学通信教育部 2019年</p> <p>○論文等(学術論文・紀要論文・研究報告書・その他) 「ツェルニー100番練習曲についての考察」 新潟中央短期大学 暁星論叢 2018年</p> <p>○展覧会・リサイタル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長岡市民合唱団定期演奏会 2018年、2019年 ・コーラスフェスティバル 2018年、2019年 ・ミッドサマーコンサート 2018年、2019年、2023年 ・東京国際声楽コンクール 2018年、2019年 ・東京国際弦楽コンクール 2023年 ・長岡市立東谷小学校 秋まつり 2022年 ・新潟クラシックストリート 2022年 ・アフィニス夏の音楽祭 2021年 ・アルフォーレピアノリレーコンサート 2021年、2022年、2024年 ・三条市音楽祭 2021年 ・ふれ愛芸術体験事業豊島雄一コンサート 2022年 ・San Do Concert 2018年、2019年、2021年、2022年、2023年 ・0歳からのコンサート 2018年、2021年、2023年、2024年 ・小林正行テノールリサイタル 2018年、2021年、2022年、2023年、2024年 ・長岡市立才津小学校音楽発表会 2018年 ・長岡市三島郡小学校親善音楽会 2018年 ・長岡市立小国中学校音楽演奏会 2018年 ・ながおかまちなかコンサートVOL.6 2019年 ・奏楽堂日本歌曲コンクール 2019年 ・柏崎双葉幼稚園コンサート 2023年 ・長岡市立越路小学校コンサート 2023年 ・吉田特別支援学校創立記念日アトラクション 2023年 ・長岡市立川崎東小学校コンサート 2023年 <p>○社会的活動(社会教育活動)</p> <p>役員・委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟県音楽コンクール審査員 2008年～現在 ・社会福祉法人東光会評議員 2021年～現在 <p>○その他特記事項</p> <p>免許、資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校教諭・高等学校教諭免許 |

| | |
|-----------|---|
| 教 員 名 | 泉 一郎 |
| 職 名 | 講師 |
| 学歴・略歴 | <p>順天堂大学体育学部体育学科卒業</p> <p>順天堂大学大学院体育学研究科保健・体育学専攻課程（運動生理学専攻）修了 体育学修士</p> <p>洗足学園魚津短期大学助教授</p> <p>富山医科薬科大学保健医学講座研究生修了</p> <p>富山県健康スポーツ財団事業推進課係長を経て現職。</p> |
| 学 位 | 博士（医学）、体育学修士 |
| 担当科目 | 健康科学、スポーツ（実技）、健康論、表現とこどもの運動、こどもの指導法「健康」、こどもと体育 |
| メッセージ | 「体力を高めて自分の進む道を切り開こう！」 |
| 業績・社会的活動等 | <p>○社会的活動（社会教育活動）</p> <p>所属学会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本体育学会・日本体力医学会・日本公衆衛生学会 ・日本運動生理学会・日本運動疫学会・日本幼児体育学会・富山県小児保健学会 <p>役員・委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本健康運動指導士会富山県支部副支部長 2010年～現在 <p>○その他特記事項</p> <p>受賞歴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康運動指導士及び健康運動実践指導者養成25周年 <p>免許、資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康運動指導士 ・スポーツプログラマー ・日本体力医学会認定健康科学アドバイザー ・健康マスター普及認定講師 ・とやま糖尿病療養指導士 |

| | |
|-----------|---|
| 教員名 | 三沢 妃佐江 |
| 職名 | 講師 |
| 学歴・略歴 | 新潟県立新潟女子短期大学幼児教育科卒業。公立幼稚園教諭、公立大学、公立短期大学、私立短期大学非常勤講師を経て現職 |
| 学位 | 短期大学士 |
| 担当科目 | 環境論、人間関係論、こどもの指導法「人間関係」、こどもの指導法「環境」、子育て支援、教育実習、保育実習指導Ⅰ、保育内容総論、教育実習事前・事後指導 |
| メッセージ | 各教科とも、子どもの成長を支える保育者の役割、及び子どもの発達過程発達を理解して適切な援助ができるように学んでほしいと思います。 |
| 業績・社会的活動等 | <p>○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他）</p> <p>「こどもの発達」長岡市子育て支援研修会資料集 2016年</p> <p>「保育の原理」長岡市子育て支援研修会資料集 2017年</p> <p>「安全の確保とリスクマネジメント」長岡市子育て支援研修会資料集 2018年</p> <p>「地域で支え合う子育て」長岡市ファミリーサポートセンター研修会 2018年</p> <p>○社会的活動（社会教育活動）</p> <p>所属学会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本基礎教育学会 <p>役員、委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士試験採点委員 2006年～2020年、2022年 ・見附市社会福祉協議会理事 2015年～現在 ・見附市保健推進協議会代議員 2019年～現在 ・見附市消費者協会会員 2010年～現在 ・新潟県退職公務員連盟見附市部役員 2020年～現在 <p>研修会講師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長岡市子育て支援研修会講師 2016年～2019年 ・長岡市ファミリーサポートセンター研修会講師 2018年 <p>○その他特記事項</p> <p>免許、資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教諭免許、保育士資格 |

| | |
|-----------|--|
| 教員名 | 池山 康栄 |
| 職名 | 講師 |
| 学歴・略歴 | 新潟大学教育学部中学校教員養成課程数学科卒業。国・公立中学校教諭、新潟県教育庁義務教育課長、中学校校長、小学校校長を経て現職。 |
| 学位 | 学士 |
| 担当科目 | 保育・教職実践演習 |
| メッセージ | |
| 業績・社会的活動等 | <p>○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他）</p> <p>「学力向上に向けた取組と小・中ギャップ解消の取組」 新潟県女性校長・教頭・主事の会 2005年</p> <p>「教育施策方針」新潟県教育施策方針説明会 2005年、2006年</p> <p>「学力向上に向けた取組」新潟県小学校長会会報 2006年</p> <p>「学校経営に力を入れて取り組むこと」 新潟県女性校長・教頭・主事の会 2006年</p> <p>「教頭先生に期待すること」長岡市三島郡教頭会 2011年</p> <p>『『関心・意欲・態度』の育成と評価』長岡算数教育を語る会会報 2012年</p> <p>「未来を拓く学校の力 地域と学校の心触れ合う教育活動」東洋館出版 全国連合退職校長会編 2015年1月分担執筆</p> <p>○社会的活動（社会教育活動）</p> <p>所属学会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本保育学会 <p>役員・委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人日本教育公務員弘済会新潟支部 日教弘教育振興事業選考委員会副委員長 2015年～現在 ・新潟大学附属長岡小学校学校運営協議会委員 2024年～現在 ・長岡市立宮内小学校 学校評議員 2018年～2021年 ・長岡市立宮内小学校運営協議会委員 2022年～現在 ・公益財団法人新潟教育会後援会 理事 2018年～現在 <p>研修会講師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業力向上マンツーマン研修」 2012年、2013年 <p>○その他特記事項</p> <p>免許、資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校教諭、高等学校教諭免許 |

| | |
|-----------|--|
| 教員名 | 山際 規子 |
| 職名 | 講師 |
| 学歴・略歴 | 新潟大学大学院教育学研究科教科教育専攻修了。公立中学教諭、公立高等学校常勤講師、新潟青陵大学短期大学部幼児教育学科・新潟青陵大学福祉心理学科、敬和学園大学非常勤講師を経て現職。 |
| 学位 | 教育学修士 |
| 担当科目 | 音楽表現論、こどもの指導法「音楽表現」 |
| メッセージ | |
| 業績・社会的活動等 | <p>○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他） 「実技習得のための指導法に関する一考察」 豊岡短期大学紀要「論集第14号」 2017年</p> <p>○社会的活動（社会教育活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟県幼児音楽合奏大会 指導講師 2018年・2019年・2020年 ・新潟県ジュニア音楽合奏大会（新潟県教育委員会）指導講師 2020年・2021年 ・新潟刑務所慰問および歌唱指導講師 2018年・2020年・2024年 <p>○展覧会・リサイタル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヴォーカル・ピアノ演奏 2015、2016、2017、2018、2019、2020、2021年、2023年 ・国立西新潟病院ロビーコンサート 2016年 ・新潟日報新聞社 メディアシップ真冬の空のコンサート 2016年 ・ラ・フォル・ジュルネ新潟交流ステージ 2016年 ・SHIMOHONCHO QUARTET 定期演奏会（新潟市芸術文化振興財団助成事業） 2017年・2018年 ・リサイタル「音楽の花束」2019年 ・I LOVE 世界中にアイラブユー コンサート（新潟市助成事業）2020年 ・新潟市アートフェスティバル オンラインコンサート（新潟市主催）2021年 ・リサイタル「はっばとゆめ」2022年 ・リサイタル「クラシックストリート」2022年、2023年、2024年 <p>○その他特記事項</p> <p>免許、資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校教諭・高等学校教諭免許 |

| | |
|-----------|---|
| 教員名 | 中川 理恵子 |
| 職名 | 講師 |
| 学歴・略歴 | 白百合女子大学大学院文学研究科児童文学専攻修士課程修了。白百合女子大学児童文化学科専任研究助手、各校での非常勤講師を経て現職。これまでの非常勤講師先・跡見学園女子大学、浦和大学、埼玉学園大学、実践女子大学、白百合女子大学、聖心女子大学、東京工芸大学、東京女子大学、武蔵野大学 |
| 学位 | 修士（文学） |
| 担当科目 | 言葉とこどもの文化、こどもの指導法「言葉」、こどもの指導法「言語表現」 |
| メッセージ | |
| 業績・社会的活動等 | <p>○著書</p> <p>「子どもの読書を考える事典」（共著）編：汐崎 順子 朝倉書店 2023年</p> <p>「現代日本子ども読書史図鑑」（共著）編：佐藤宗子・久米依子 楓風舎 2023年</p> <p>「ひとりでもめたよ！幼年文学おすすめブックガイド200」（共著）編：大阪国際児童文学振興財団 評論社 2019年</p> <p>○論文等</p> <p>「紙芝居「ちっちゃいこえ」の声を受け止めて（報告）第26回紙芝居サミット「いのちを見つめる紙芝居」～これから何をうたいあげるのか」紙芝居研究7号 白百合女子大学児童文化研究センター 2024年</p> <p>「巖谷小波 欧州から家族に宛てた89通の絵葉書（1900～1902）～夫・父親としての小波～」研究紀要37号 大阪国際児童文学振興財団 2024</p> <p>「巖谷小波日記 翻刻と註釈—明治三十九年（一月～四月）—」（共著）小波日記研究会白百合女子大学児童文化研究センター研究論文集 2024年</p> <p>「巖谷家所蔵 巖谷小波関連絵はがき研究について 多様な小波研究への入り口」研究紀要36号 大阪国際児童文学振興財団 2023</p> <p>「紙芝居の脚本は演じ手の声により言葉となるから」紙芝居研究6号 白百合女子大学児童文化研究センター 2023年</p> <p>「巖谷小波日記 翻刻と註釈 —明治三十八年（九月～十二月）—」（共著）小波日記研究会白百合女子大学児童文化研究センター研究論文集 2023年</p> <p>「とっておきの一作 「てんからおだんご」母のひろば 童心社 2022年</p> <p>「紙芝居の演じ方に関する一考察」紙芝居研究第5号 白百合女子大学児童文化研究センター 2022年</p> <p>「巖谷小波日記 翻刻と注釈 明治28年～明治34年・明治37年～明治38年」（共著）白百合女子大学児童文化研究センター研究論文集 2000年～2021年</p> <p>「紙芝居で広げたい子どもの物語体験」母のひろば 童心社 2020年</p> <p>○学会発表</p> <p>「巖谷小波 欧州から家族に宛てた89通の絵葉書（1900～1902）～夫・父親としての小波～」日本児童文学学会第62回研究大会ラウンドテーブル〔「巖谷小波の絵葉書から見えるもの：旅と家族と幅広いネットワーク状況をたどる」〕（武蔵野大学）2023年11月</p> <p>「巖谷家所蔵 巖谷小波関連絵はがき研究について～多様な小波研究への入り口」日本児童文学学会ラウンドテーブル〔巖谷小波と絵葉書〕（宮城教育大学）2022年</p> <p>「巖谷小波と紙芝居—源流・形式からの考察」日本児童文学学会第58回研究大会ラウンドテーブル②誰が「教育紙芝居」を作ったか？—源流・形式・内容—2019年</p> <p>○社会的活動（社会教育活動）（所属学会・役員・委員会・講演・研修会講師等を記載）</p> |

所属学会

日本児童文学学会、絵本学会、J B B Y

役員・委員会

日本児童文学学会 監事（2023年度まで）

さいたま紙芝居研究会 理事

講演・研修会講師

「紙芝居の活用・研究について」韓国紙芝居文化研究会（ソウル） 講師 2024年3月

「紙芝居を演じる」培花女子大学（ソウル） 講師 2024年3月

「紙芝居を演じる～素晴らしい紙芝居の世界」高麗大学（ソウル） 講師 2024年3月

「紙芝居を演じる～絵本と紙芝居の違い」仁川大学（インチョン） 講師 2024年3月

「講演会「紙芝居の今」～実演とお話で紙芝居を考える～ 東葛飾地区母親読書センター2月例会 講師 2024年

「童心社 紙芝居アカデミーフォローアップ講座 紙芝居ナイト」2019年

○その他特記事項

業績・社会的活動等

・第17回巖谷小波文芸賞 特別賞受賞（(財)日本青少年文化センター）1995年

・第19回日本児童文学学会賞 奨励賞受賞（日本児童文学学会） 1995年

免許・資格

・中学校教諭一級普通免許状（国語）

・高等学校教諭二級普通免許状（国語）

| | |
|-----------|--|
| 教員名 | 渡邊 舞 |
| 職名 | 講師 |
| 学歴・略歴 | 北星学園大学大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻博士課程単位修得満期退学後、北星学園大学で博士の学位授与（社会福祉学博第4号）。非常勤講師（北海道内の大学・専門学校）を経て現職 |
| 学位 | 博士（社会福祉学）、修士（心理学） |
| 担当科目 | こども家庭支援論、こどもの発達と家庭支援、発達心理学、教育心理学 |
| メッセージ | こどもの心と行動を学び、実践に生かしてください。 |
| 業績・社会的活動等 | <p>○著書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達心理学（共著）豊岡短期大学通信教育部 2024年 ・心理学概論 Well-Being な生き方を学ぶ心理学（共著）ナカニシヤ出版 2022年 ・教育原理（共著）豊岡短期大学通信教育部 2019年 <p>○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者養成課程で学ぶ「専門学校生」の実習への想いに関する研究—実習を通しての意識の比較—豊岡短期大学論集第19号 2023年 保育者を目指す学生の読書経験と子どもの頃の読み聞かせに関する研究—3年間の質問紙調査による検討— 豊岡短期大学論集第18号 2022年 ・学生の絵本の選書意識に関する研究—「絵本に関する授業」前後の意識調査による考察— 紀要 51号 札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部 2021年 ・保育者養成校における絵本の選書に関する研究—保育所実習と幼稚園実習の比較—（共著）豊岡短期大学論集第17号 2021年 ・自閉症傾向が自己効力感および友人関係を介して大学生生活満足度に及ぼす影響—（共著）北星学園大学社会福祉学部北星論集 57号 2020年 ・保育者養成課程で学ぶ「専門学校生」の実習前後の想いと自己成長感に関する研究—2年間の縦断的調査による研究—（共著）豊岡短期大学論集第16号 2020年 ・保育者養成課程で学ぶ「専門学校生」の実習不安と自己成長感に関する研究—1年次と2年次調査による考察—（共著）豊岡短期大学論集第15号 2019年 ・パーソナリティ特性がスマートフォンゲーム依存傾向に及ぼす影響—利用動機に着目して—（共著）北星学園大学社会福祉学部北星論集 56号 2019年 <p>○学会発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HSP傾向と新型コロナウイルス感染症による不安および友人関係の関連 日本パーソナリティ心理学会第32回大会 2023年 ・コロナ渦で保育学生が抱く不安に関する研究—実習経験を踏まえた、児童文学の授業実践に向けて—日本保育学会第75回大会 2022年 ・「児童文学」受講による絵本選書の視点に関する研究（1）—受講前後の実習による検討—日本保育学会第74回大会 2021年 ・「児童文学」受講による絵本選書の視点に関する研究（2）—対面授業と遠隔授業の比較による検討—日本保育学会第74回大会 2021年 ・スマートフォンゲーム依存傾向測定尺度の作成の試み 日本パーソナリティ心理学会第29回大会 2020年 ・保育者養成校における絵本の選書に関する研究（1）—保育所実習と幼稚園実習との比較—日本保育学会第73回大会 2020年 ・保育者養成校における絵本の選書に関する研究（2）—「絵本に関する授業」前後における学 |

生の意識の変化—日本保育学会第73回大会 2020年

・保育者イメージに関する研究 - 保育者養成課程専門学校生と一般大学生の比較 - 日本保育学会第72回大会 2019年

○社会的活動（社会教育活動）

所属学会；日本心理学会、日本社会心理学会、北海道心理学会、日本パーソナリティ心理学会、日本保育学会、日本心身医学会

運営委員：ニチイキッズ南まるやま保育園 運営委員 2019年～現在

| | |
|-----------|--|
| 教員名 | 川口 佳子 |
| 職名 | 講師 |
| 学歴・略歴 | 国立音楽大学教育音楽学科第一類専攻卒業。市立・私立高等学校、西南女学院短期大学保育科非常勤助手、九州女子短期大学初等中等教育科非常勤講師、西南女学院大学福祉科非常勤講師を経て現職。 |
| 学位 | 音楽学士 |
| 担当科目 | 音楽表現論、こどもの指導法「リズム表現」、こどもの指導法「音楽表現」 |
| メッセージ | すべての学びを自己との対話とし、社会に羽ばたく糧となりますように。 |
| 業績・社会的活動等 | <p>○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他）</p> <p>「こどものための音楽と動き」（単著）北九州音楽協会ケミカル商事地域文化支援事業 2012年</p> <p>「リトミック実践研究～拍と動き～」（単著）西南女学院大学 2013年</p> <p>「保育者教員養成校における領域『表現』と小学校科目『音楽』を繋ぐ現状と課題—コーデイングシステム—に着目して」（共著）豊岡短期大学紀要「論集第14号」2017年</p> <p>「感性と表現に関する領域「表現」における創作活動の実践報告—応答性に着目した即興の展開—」（共著）豊岡短期大学「論集第17号」2021年</p> <p>○学会発表</p> <p>「表現活動における音づくり」（共著）日本保育学会 第71回大会 2018年</p> <p>「幼児の音楽表現に関する一考察—身体表現における即興演奏の効果—」（共著）日本保育学会 第73回大会</p> <p>「保育者養成校における即興演奏の有効性—ピアノ学習の現状と課題—」（共著）日本保育学会 第72回大会 2019年</p> <p>○展覧会・リサイタル</p> <p>ジョイントリサイタル薫風 2015年</p> <p>音の杜コンサート vol.1 2015年</p> <p>音の杜コンサート vol.2 2016年</p> <p>音の杜コンサート vol.3 2017年</p> <p>音の杜コンサート vol.4 2018年</p> <p>L'episode-エピソード- 2019年</p> <p>音の杜コンサート vol. 5 2020年</p> <p>東アジア文化都市 2020 北九州パートナーシップ事業 2020年</p> <p>○社会的活動</p> <p>所属学会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本保育学会・九州保育研究会・北九州音楽協会 <p>社会福祉</p> <p>「私とあなたの心とからだを大切にするために」（共著）福岡県新社会推進部男女共同参画推進課 2009年</p> <p>「DV加害者対策等に関する調査研究報告書」（共著）福岡県新社会推進部男女共同参画推進課 2009年</p> <p>自主企画講演</p> <p>「子育てと母親のメンタルヘルス」東京・大阪 2014年</p> <p>「思春期教育と母親のメンタルヘルス」東京・名古屋・福岡 2018年</p> <p>「わらべうたで育む自己対話とコミュニケーション」</p> |

「声と体と思考をつなぐ」台湾宜蘭礁溪國中 2023年

○その他特記事項

資格

・中学校、高等学校教諭免許状

| | |
|-----------|---|
| 教員名 | 高木 真理子 |
| 職名 | 講師 |
| 学歴・略歴 | お茶の水女子大学大学院博士課程人間文化研究科人間発達学専攻満期退学。大学、短期大学の非常勤講師を経て現職。 |
| 学位 | 修士 |
| 担当科目 | こどもの理解と援助、こどもの理解と相談支援、教育心理学、 |
| メッセージ | 現代社会の中の家族や子育てについて、広い視野をもって学びましょう。 |
| 業績・社会的活動等 | <p>○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他）</p> <p>「部活動で学ぶこと・気をつけること」（単著）豊岡短期大学論集第 15 号 2019 年</p> <p>「家族の多様性と子育て支援」（単著）豊岡短期大学論集第 17 号 2021 年</p> <p>「遊戯療法から学ぶ一子どもの心の理解、子どもとの関わりー」（単著）豊岡短期大学論集第 18 号 2022 年</p> <p>「虐待予防のための子育て講座の検討」（単著）豊岡短期大学論集第 19 号 2023 年</p> <p>「質の高い保育・幼児教育ー子ども理解と学びの援助」（単著）豊岡短期大学論集第 20 号 2024 年</p> <p>○学会発表</p> <p>「What do Japanese students learn from club-activities at school?」 ISPA（International school Psychology Association）2018 年 Tokyo</p> <p>○社会的活動</p> <p>公立図書館で絵本の読み聞かせボランティア 2015 年～現在</p> <p>○所属学会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本心理学会・教育心理学会・発達心理学会・カウンセリング学会・学校心理学会 <p>○その他特記事項</p> <p>免許、資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公認心理師・学校心理士・認定心理士 |

| | |
|-----------|---|
| 教員名 | 吉益 敏文 |
| 職名 | 講師 |
| 学歴・略歴 | 武庫川女子大学大学院臨床教育学研究科臨床教育学専攻修了。小学校教諭、大学非常勤講師を経て現職。 |
| 学位 | 修士（臨床教育学） 修士（教育学） 文学士 |
| 担当科目 | 人間関係論、こどもの指導法「人間関係」、こどもの理解と援助、教職論、こどもの理解と相談支援、 |
| メッセージ | 未来の保育士（教員）めざして現実と向きあい理想を持ちながら地道に学習してください。 |
| 業績・社会的活動等 | <p>○著書</p> <p>「講座教育実践と教育学の再生 第2巻 教育実践と教師その困難と希望」（共著） かもがわ出版 2013年</p> <p>「人間関係論」（共著） 豊岡短期大学通信教育部 2018年</p> <p>「教職論」（共著）豊岡短期大学通信教育部 2019年</p> <p>「検証・全国学力調査」学文社（共著）2021年</p> <p>○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他）</p> <p>「子どもの心の声と子ども理解」（単著）臨床教育学研究 第2巻 群青社 2014年</p> <p>「教育志望の学生の問題意識の考察」（単著）帝塚山学院大学教育実践研究センター 年報第2号 2015年</p> <p>「『学級崩壊』子どもの心、父母の心、教師の心」（単著） 教育と医学5月号 2016年</p> <p>「教職志望の学生がもつ『子ども理解』概念についての考察—大学生の授業感をもとに—」（単著）東大阪大学研究紀要第16号 2018年</p> <p>「人間発達援助職としての教職員の立ち位置についての考察：4つの実地研修から学んだこと」（単著）臨床人間関係論研究 2018年</p> <p>「座談会 学生団体 Teacher Aide×京都教科研 教員一人ひとりを幸せに」（共著） 教育 / 教育科学研究会 2019</p> <p>「教職志望の学生がもつ『子ども理解』概念についての考察—大学生の授業感をもとに—」（単著）臨床・教育学論集（11）2020年</p> <p>「臨床教育学、これまで、これから：池田孝司さんにインタビュー」（共著） 臨床・教育学論集（12）2020年</p> <p>「人間発達援助職としての教師論の考察（I）—勝田守一の教師論に着目して—」（単著）臨床・教育学論集（12）2020年</p> <p>「子ども・青年をどうみるのか」（単著）教育5月号 2021年</p> <p>「生活綴方を実践する教師の「まじめさ」に関する考察—5人に教師の聞き取りから—」（単著）臨床・教育学論集（14）2022年</p> <p>書評.「戦後教育学と戦争体験」（単著）教育 / 教育科学研究会 2022年 学会発表</p> <p>「教員志望の学生の『子ども理解』概念についての考察—大学子ども教育相談の授業実践から—」日本臨床教育学会 第8回大会 2018年</p> <p>「人間発達援助職としての教師像の考察—勝田守一の教師、教職論に着目して—」日本臨床教育学会 第9回大会 2019年</p> <p>「教師の「まじめさ」に関する考察—勝目守一の文献研究から—」武庫川臨床教育学会 第18回研究会</p> <p>○社会的活動（社会教育活動）</p> |

所属学会

- ・日本臨床教育学会理事 ・武庫川臨床教育学会理事・事務局長
- ・教育科学研究会全国委員 ・京都教育科学研究会 事務局長
- ・地域民主教育全国交流研究会世話人

社会教育活動

- ・大阪府児童支援認定資格研修講師（2018年～現在）関西子ども文化協会

○その他特記事項

免許、資格

小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭

| | |
|-----------|--|
| 教員名 | 浅野 吉英 |
| 職名 | 講師 |
| 学歴・略歴 | 神戸大学大学院教育研究科美術教育専攻美術講座 修了。兵庫県立尼崎西高等学校、兵庫県立阪神特別支援学校、兵庫県立神戸特別支援学校、兵庫県立東灘高等学校、兵庫県立西宮今津高等学校教諭、まちげい Knot 主催を経て現職。 |
| 学位 | 美術教育修士 |
| 担当科目 | 造形表現論、こどもの指導法「造形表現」、こどもと造形 |
| メッセージ | 子どもの豊かな育ちに大きく関わる造形活動や表現活動、探究活動をアートと活動理論の視点を交差させ、子ども中心の実践活動を創り出す実践者のための理論研究をしています。 |
| 業績・社会的活動等 | <p>○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他）</p> <p>地域との結び目づくり（Knot Working）から生まれる子どもの創作表現活動の実践研究 豊岡短期大学論集第 16 号 2020 年 3 月</p> <p>『拡張的学習と教育イノベーション』ミネルヴァ書房 山住勝広編著 第 7 章「アートを創る授業に媒介されて」執筆 2022 年 9 月発行</p> <p>「探究学習における介入研究チェンジラボラトリーに向けて」活動理論学会発表 2024 年 3 月</p> <p>○社会的活動（社会教育活動）</p> <p><所属学会、等></p> <p>活動理論学会</p> <p>美術科教育学会</p> <p>日本教育方法学会</p> <p>公立学校で探究的学習のカリキュラムアドバイザー</p> <p>西宮甲子園で 2009 年～2019 年までたてじまアートプロジェクトを主催</p> <p>○その他特記事項</p> <p>免許、資格</p> <p>小学校教諭 1 種免許状、中学校教諭 1 種免許状、高等学校教諭専修免許状</p> |

| | |
|-----------|---|
| 教員名 | 田中 いずみ |
| 職名 | 講師 |
| 学歴・略歴 | 聖徳大学大学院児童学研究科児童学専攻博士前期課程修了。國學院大學法学部法律学科卒業後、新潟県公立中学校国語教諭、湯沢町立湯沢中学校教育相談員などを経て現職。 |
| 学位 | 児童学修士 |
| 担当科目 | 障害児保育、こどもの理解と援助、発達心理学、こどもの理解と相談支援 |
| メッセージ | 『目の前の子どもは将来の社会を担う大人』をモットーに。 保育者・教育者として我慢強さ、思いやり深さを持ち、子どもと一緒に楽しむことが大切です。 共に日々精進していきましょう。 |
| 業績・社会的活動等 | <p>○著書</p> <p>「保育者・幼児教育者向けテキスト『こどもの育ちを支える幼児理解』（共著）大阪こどもカウンセリング研究会 2018年</p> <p>「特別支援教育障がい児保育の理論と支援」（共著）嵯峨野書院 2020年</p> <p>○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他）</p> <p>「特別支援教育におけるグループ活動の取り組みについて-ピアカウンセリングを活用して-」（共著）実践グループ学習研究会第2号</p> <p>「日本版 WISC-V の改訂点に見る新たな展望」豊岡短期大学論集19号 2023年</p> <p>○学会発表（タイトル・発表大会名・開催年）</p> <p>「思春期の生徒の被援助志向性を高めるための方略」第60回日本教育心理学会総会 2018年</p> <p>「書くことによる言語的説得が自己効力感に及ぼす効果3」第61回日本教育心理学会総会 2019年</p> <p>「学校不適応感を抱く生徒への支援の在り方における一考察」第63回日本教育心理学会総会 2021年</p> <p>○社会的活動（社会教育活動）</p> <p>所属学会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本教育心理学会 <p>○その他特記事項</p> <p>免許・資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校・高校教諭1種免許状社会 ・中学校教諭1級普通免許国語・高校2級普通国語 ・公認心理師 ・学校心理士 ・産業カウンセラー ・中級教育カウンセラー |

| | |
|-----------|---|
| 教員名 | 正木 泰次 |
| 職名 | 講師 |
| 学歴・略歴 | 大阪市立大学理学部地学科卒業後、和泉市役所（和泉市立青少年センター、和泉市教育委員会）、社会福祉法人和泉幸生会を経て現職。 |
| 学位 | 理学士 |
| 担当科目 | 障害児保育、こどもの理解と援助、こどもの理解と相談支援 |
| メッセージ | |
| 業績・社会的活動等 | <p>○著書</p> <p>「保育者・幼児教育者向けテキスト『こどもの育ちを支える幼児理解』（共著）大阪こどもカウンセリング研究会 2018年</p> <p>「特別支援教育障がい児保育の理論と支援」（共著）嵯峨野書院 2020年</p> <p>○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他）</p> <p>「グループカウンセリングの手法を活用した体験学習の効果について－個と集団を活かした学級経営－」（共著）実践学級経営学会第3号 2019年</p> <p>「保育現場における保育課程の意識調査－保育者と保育者志望学生の比較－」（共著）豊岡短期大学論集16号 2020年</p> <p>「発達に課題のある子どもへの支援－グループカウンセリングの手法を活用して－」（共著）実践グループ学習研究会第2号 2020</p> <p>「社会的養護の必要な子ども支援－教育相談を通じた支援－」（共著）豊岡短期大学論集17号 2021年</p> <p>○社会的活動（社会教育活動）</p> <p>役員・委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人和泉幸生会 理事長 2008年～2015年 ・民生委員・児童委員 2017年～現在 ・幸校区校区社会福祉協議会会長 2023年～現在 |

| | |
|-----------|--|
| 教員名 | 堂前 芳子 |
| 職名 | 講師 |
| 学歴・略歴 | 聖徳大学大学院児童学研究科児童学専攻修了。金沢市立中学校体育科教員、石川県いきいきサポート、スクールカウンセラーを経て現職。 |
| 学位 | 児童学修士 |
| 担当科目 | こどもの理解と援助、こどもの理解と相談支援、特別支援教育 |
| メッセージ | |
| 業績・社会的活動等 | <p>○著書 「保育者・幼児教育者向けテキスト『こどもの育ちを支える幼児理解』（共著）大阪こどもカウンセリング研究会 2018年</p> <p>○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他） 「グループカウンセリングの手法を活用した体験学習の効果について－個と集団を活かした学級経営－」（共著）実践学級経営学会第3号 2020年 「特別支援教育の現状と課題」共著 豊岡短期大学論集16号 2020年 「子育て支援の在り方について－発達に不安を持つ保護者支援を通じて－」（共著）豊岡短期大学論集17号 2021年</p> <p>○社会的活動（社会教育活動） ・日本教育カウンセラー学会 ・学校心理士会 ・臨床発達心理士会</p> <p>○その他特記事項 免許・資格 ・中学（一種保健体育科） ・高等学校（二種保健体育科）教員免許 ・上級教育カウンセラー ・学校心理士 ・臨床発達心理士 ・特別支援学校教諭（知的障害2種） ・ガイダンスカウンセラー</p> |

| | |
|-----------|---|
| 教員名 | 永田 恵 |
| 職名 | 講師 |
| 学歴・略歴 | 武庫川女子短期大学英文科卒業。阪南市立小学校の教諭等を経て現職。 |
| 学位 | 文学士 |
| 担当科目 | スポーツ（実技）、健康論、表現とこどもの運動、こどもの指導法「健康」 |
| メッセージ | |
| 業績・社会的活動等 | <p>○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他）</p> <p>「青少年赤十字指導情報誌「人道的価値観って？」」（共著）日本赤十字社 2013年</p> <p>「子どもを取り巻く環境—子どもの集団遊びにおける安全教育—」（単著）実践グループ学習研究会第2号 2021年</p> <p>「まんがでよくわかる ひみつシリーズ189 赤十字のひみつ」（協力）学研 2023年2月</p> <p>「日刊社会教育5 コラム掲載」旬報社 2023年</p> <p>紀要論文</p> <p>障害児の体育とスポーツ —障害のある子どもたちも一緒に楽しむ体育— （2022）</p> <p>遊びで培う体力と社会性 —伝え合う力を集団遊び— （2023）</p> <p>○その他特記事項</p> <p>免許・資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校教諭一種免許状 ・トランポリン普及指導員 ・日本赤十字社大阪府支部奉仕団指導講師 ・社会教育士 |

| | |
|-----------|---|
| 教員名 | 西村 吉弘 |
| 職名 | 講師 |
| 学歴・略歴 | 大阪体育大学体育学部体育学科卒業後、大阪府立高校保健体育科講師、阪南市教育委員会事務局生涯学習推進室長等を経て現職。 |
| 学位 | 体育学士 |
| 担当科目 | スポーツ（実技）、健康論、表現とこどもの運動、こどもの指導法「健康」 |
| メッセージ | |
| 業績・社会的活動等 | <p>○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他）</p> <p>「生涯学習に対する市民意識に関する検討と課題」（共著）日本生涯教育学会 2015年</p> <p>「子どもを取り巻く環境—子どもの集団遊びにおける安全教育—」（単著）実践グループ学習研究会第2号 2021年</p> <p>「ニュースポーツを通じた健康づくり① —運動を通じた心身の理解—」（共著）豊岡短期大学論集第18号 2021年</p> <p>「ニュースポーツを通じた健康づくり② —運動の継続による心身への効果—」（共著）豊岡短期大学論集第19号 2022年</p> <p>「スポーツを通じた健康づくり」 —スポーツ活動による子どもの心身への影響—（共著）豊岡短期大学論集第20号 2023年</p> <p>○その他特記事項</p> <p>免許・資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学・高校保健体育教諭 ・ 社会教育士 ・ 公認初級パラスポーツ指導員 ・ 防火管理者 ・ 阪南市生涯スポーツ認定登録指導者 |

| | |
|-----------|--|
| 教員名 | 川端 義明 |
| 職名 | 講師 |
| 学歴・略歴 | 鳥取大学教育学部小学校課程卒業。公立中学校・小学校教諭、主幹教諭、教頭、校長、幼稚園長（小学校長と兼務）を経て現職。 |
| 学位 | 学士 |
| 担当科目 | 健康科学、スポーツ（実技）、表現とこどもの運動、教育原理、教育実習、教育実習事前・事後指導、保育・教職実践演習、 |
| メッセージ | ともに学び、生涯を通して人として成長していきましょう。「楽しく、しなやかに生きる」私の座右の銘です。 |
| 業績・社会的活動等 | <p>教員名 川端 義明 職名 講師</p> <p>学歴・略歴 鳥取大学教育学部小学校課程卒業。公立中学校・小学校教諭、主幹教諭、教頭、校長、幼稚園長（小学校長と兼務）を経て現職。</p> <p>学位 学士</p> <p>担当科目 健康科学、スポーツ（実技）、表現とこどもの運動、教育原理、教育実習、教育実習事前・事後指導、保育・教職実践演習</p> <p>メッセージ ともに学び、生涯を通して人として成長していきましょう。「楽しく、しなやかに生きる」私の座右の銘です。</p> <p>業績・社会的活動等 ○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他）</p> <p>「授業づくりで子どもを変える、学校を変える」～子どもの事実から学ぶ学校改善への取組～（単著）豊岡市小学校長会研修会 実践発表 2018年</p> <p>「自分の考えを伝え合うことのできる児童の育成」（単著）豊岡市立田鶴野小学校研究紀要 2019年</p> <p>「『学習に向かう土台づくり』と『つながりトーク』で高まり合う体育授業」（単著）豊岡市立八条小学校研究紀要 2021年</p> <p>「0歳から15歳までを一体的に捉えた教育・保育のあり方を考える」（単著）豊岡短期大学紀要「論集第18号」 2021年</p> <p>「東井義雄教育思想に基づく『いのち』の教育」（単著）豊岡短期大学紀要「論集第20号」 2023年</p> <p>○社会的活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県学校保健主事会副会長（2019年度県研究協議大会実行委員長）2018年・2019年 ・豊岡市小学校長会副会長 2020年・2021年 ・豊岡市社会福祉協議会 評議員 2020年・2021年 <p>○その他特記事項</p> <p>【受賞歴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県学校保健主事会 教育功労者表彰 2021年 <p>【資格】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校教諭 ・中学校教諭 ・高等学校教諭 ・危険物取扱者免状（乙種4類） |

| | |
|-----------|--|
| 教員名 | 菅原 亜紀 |
| 職名 | 講師 |
| 学歴・略歴 | 筑紫女学園大学大学院人間科学研究科人間科学専攻修了後、公立園保育士、純真短期大学こども学科専任助教、福岡こども短期大学こども教育学科専任講師を経て現職。 |
| 学位 | 修士（人間科学） |
| 担当科目 | 言葉とこどもの文化、こどもの指導法「言葉」、こどもの指導法「言語表現」、こども家庭支援論、保育原理、子育て支援、保育実習Ⅰ、保育実習指導Ⅰ、保育実習Ⅱ、保育実習Ⅲ、乳幼児保育Ⅰ、乳幼児保育Ⅱ、社会的養護Ⅱ、保育実習指導Ⅱ、保育実習指導Ⅲ |
| メッセージ | 保育・子どもにかかわる学びは奥深く何よりおもしろいと思います。たくさんの気づきを得て、学ぶ喜びを感じてもらえたらうれしいです。 |
| 業績・社会的活動等 | <p>○著書 「里親と子どもの絵本 ぼくのかぞく」（共著）海鳥社 2022年5月</p> <p>○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他） 「保育者養成課程における乳児保育の現状と課題-保育実習後のアンケート調査をもとに-」（共著）大濠教育研究所研究紀要 令和3年度版 「保育者の資質を育む体験学習の体系化の試み(1)-授業をとおした学生の変容に着目して-」（共著）純真紀要 第60号 「里親制度への理解に関する一考察-保育系短期大学生のアンケートから-」純真紀要 第59号 「短期大学生の体罰と虐待に対する認識の変容-3つの立場から体罰と虐待を考える-」（共著）純真紀要 第58号 「0-2歳児における読み聞かせ方法の特質-コミュニケーションに着目して-」（共著）純真紀要 第58号 他</p> <p>○社会的活動 特定非営利活動法人 にじいろ CAP 理事 2020年～現在 春日市潜在保育士研修講師 2022年～現在 里親講演・研修講師 2018年～現在 佐賀県養育里親 他</p> <p>○所属学会 日本子ども虐待防止学会 日本保育学会</p> |

| | |
|-----------|---|
| 教員名 | 森本 良孝 |
| 職名 | 講師 |
| 学歴・略歴 | <p>佛教大学文学部教育学科卒業。</p> <p>兵庫県公立小学校教諭・校長・幼稚園長（校長と兼務）、兵庫県教育委員会指導主事、豊岡市教育委員会指導主事・こども教育課長、豊岡市教育委員会指導主事を経て現職。</p> |
| 学位 | 文学士 |
| 担当科目 | 健康科学、スポーツ（実技）、健康論、表現とこどもの運動、こどもの指導法「健康」、教育実習、教育実習事前・事後指導、保育・教職実践演習 |
| メッセージ | |
| 業績・社会的活動等 | <p>業績・社会的活動等 ○著書</p> <p>「校長日記「小技」で勝負」（単著） 令和2年10月 第一公報社</p> <p>○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他）</p> <p>「幼児における運動遊びの取組について」（単著）豊岡短期大学「論集第20号」2023</p> |

| | |
|-----------|---|
| 教員名 | 奥村 桃子 |
| 職名 | 助教 |
| 学歴・略歴 | 白百合女子大学大学院文学研究科発達心理学専攻博士課程修了。横浜市立みなと総合高等学校非常勤講師・聖セシリア女子短期大学非常勤講師、社会福祉法人ちとせ交友会非常勤講師・上智大学短期大学部非常勤講師を経て現職。関東学院大学非常勤講師・実践女子大学非常勤講師・白百合女子大学生涯発達研究教育センター研究員。 |
| 学位 | 博士（心理学） |
| 担当科目 | 言葉とこどもの文化、こどもの指導法「言葉」、こども家庭支援論、障害児保育、子育て支援、こどもの発達と家庭支援、発達心理学、教育心理学 |
| メッセージ | |
| 業績・社会的活動等 | <p>○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他）</p> <p>「乳児の共同注意の発達と母親の関わり」共著 生涯発達研究教育センター紀要 2011年</p> <p>「1歳台の子どもにおける越境体験と模倣行為の発達の意義について」単著 生涯発達研究教育センター紀要 2014年</p> <p>「乳幼児期の読み聞かせ・読書活動支援のあり方と子どもの発達との関連」共著生涯発達研究教育センター紀要 2015年</p> <p>「乳幼児期における読み聞かせ・読書活動、親のかかわりと子どもの発達との関連」単独 乳幼児発達研究会 例会 2014年</p> <p>「1歳台の子どもの家庭と保育園における越境性について－模倣行為を中心として－」単独 日本発達心理学会第25回大会 2014年</p> <p>「乳幼児・児童・青年期の読書活動支援のあり方と成果（2）－乳幼児保育の読み聞かせと子どもの発達の分析－」共同 日本子育て学会第6回大会 2014年</p> <p>乳幼児期から青年期に至る読書活動のあり方と発達との関連（1）－乳幼児期における読書活動と親のかかわりとの関連－」共同 日本発達心理学会 第26回大会 2015年</p> <p>「乳幼児期の子どもの垂直的越境交流と発達との関連～読み聞かせ活動を通して～」単独 日本子育て学会第10回大会 2018年</p> <p>乳幼児期の子どもにおける垂直的越境交流と水平的越境交流の発達への影響過程の分析～読み聞かせ活動を通して～」単独 乳幼児発達研究会例会 2018年</p> <p>「乳児の心身の発達と母子関係」単著 白百合女子大学卒業論文 2011年</p> <p>「1歳代の家庭と保育園における模倣行為とその越境性について」単著 白百合女子大学大学院修士論文 2013年</p> <p>「乳幼児期の子どもにおける垂直的越境交流と水平的越境交流の発達への影響過程の分析～読み聞かせ活動を通して～」単著 白百合女子大学大学院博士論文 2018年</p> <p>「乳幼児期の子どもの水平的越境交流と発との関連性～読み聞かせ活動を通して～」単独 第28回日本乳幼児医学・心理学会 2018年</p> <p>「乳幼児期の子どもが体験する越境活動と発達との関連性－読み聞かせ活動における『垂直的越境活動』『水平的越境活動』と発達との関連－」単独 日本発達心理学会第30回大会 2019年</p> <p>「日常の親子共同行為がもつ発達支援ツールとしての構造と機能－子どもの越境体験を育むコミュニケーション・ツールとしての食育・読み聞かせ活動の効用－」共同 日本発達心理学会第30回大会 2019年</p> <p>「相互行為論による発達理論と発達支援方法論の構築－垂直的・水平的越境活動による発達と支援－」日本発達心理学会第32回大会 RT：2021年</p> |

○社会的活動（社会教育活動）

所属学会

日本発達心理学会、日本子育て学会、日本臨床発達心理士会、日本乳幼児医学・心理学会

○その他特記事項

免許・資格

幼稚園教諭一種免許状、保育士資格、臨床発達心理士資格、公認心理師

| | |
|-----------|---|
| 教員名 | 木村 清子 |
| 職名 | 助教 |
| 学歴・略歴 | 京都教育大学教育学部第二類音楽科卒業。 私立中学・高等学校教諭、公立中学校、県立高等学校講師を経て現職。 |
| 学位 | 学士（教育学） |
| 担当科目 | 音楽表現論、こどもの指導法「音楽表現」 |
| メッセージ | |
| 業績・社会的活動等 | ○論文等（学術論文・紀要論文・研究報告書・その他） 「人格形成とピアノ」 単著 豊岡短期大学紀要 2022年7月 ○その他特記事項 ・小学校免許 ・中学校免許 ・高等学校免許 ・ヤマハ音楽振興会グレード |